

富里市公共施設個別施設計画（案）

《令和3年度～令和18年度》



令和3年3月

富里市



【目次】

はじめに～個別施設計画の必要性～	3
第1章 個別施設計画の策定方針	4
1 計画の位置づけと関係	4
1) 計画の位置づけ	4
2) 計画の関係	5
2 計画期間	6
3 個別施設計画の対象施設	7
第2章 施設の評価方針	10
1 施設の評価方法	10
1) 各施設の方針の決定	10
2) 個別施設計画個票(調査項目)	10
2 方向性判断フローの基準	11
第3章 施設の評価	13
1 総合管理計画の概要	13
2 施設類型毎の施設の方針	14
1) 学校教育系施設	14
2) 子育て支援施設	17
3) 保健・福祉施設	24
4) 社会教育系施設	26
5) 市民文化系施設	33
6) 産業系施設	47
7) 公園内建築物	49
8) 行政系施設	74
9) スポーツ系施設	109
10) 供給処理施設	113
11) その他建築系公共施設	121
12) その他土木系公共施設	126
第4章 取組・実施体制	128
1 今後の取組	128
2 施設利用者や市民との情報共有・合意形成	128
3 庁内取組体制	128

はじめに ～個別施設計画の必要性～

策定の背景と目的

全国の地方自治体では、厳しい財政状況の中、人口減少、少子高齢化のさらなる進行等により公共施設等の利用需要の変化が予想されることから公共施設等の状況を把握し、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図ると共に、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となっています。

そのような状況の中、国においては、インフラ機能を最適化・維持し、効率的に持続可能で活力ある未来の実現などを目的として、平成 25（2013）年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定しました。

また、地方公共団体に対しては、国の動きと歩調を合わせて、公共施設の長期的な視点を持って総合的かつ計画的な公共施設の管理を推進するよう、「公共施設等総合管理計画」の策定が求められました。

富里市（以下、「本市」という。）においても、今後、人口の減少が懸念され、少子化、高齢化がさらに進み、生産人口の減少により税収が減少する一方で、人口構成の変化に伴う社会保障費や扶助費等の増大が見込まれ、財政状況もますます厳しくなると考えられます。

一方、公共施設等（公共施設・インフラ施設）の現状は、平成 27 年度末時点で築 30 年以上の建物が 65%以上と老朽化が進んでおり、施設関係の財政需要が高まることが想定されます。

これらを踏まえ、本市においても、長期的な視点に立った計画的な老朽化対策等を目的とした「富里市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）を、平成 29（2017）年 3 月に策定し、施設類型ごとの管理に関する基本的な方針を定めました。

総合管理計画に基づき、持続可能な行政経営を行っていくためには、各公共施設等の将来あるべき姿を検討することが必要です。

「富里市公共施設個別施設計画（以下、「個別施設計画」という。）」は、各公共施設をできる限り客観的に評価することにより、施設ごとの方向性を検証することを目的としています。

今後は、個別施設計画の結果を更に検証し、ファシリティマネジメントによる経営的な視点から、適正な管理・運営を図るものです。

第1章 個別施設計画の策定方針

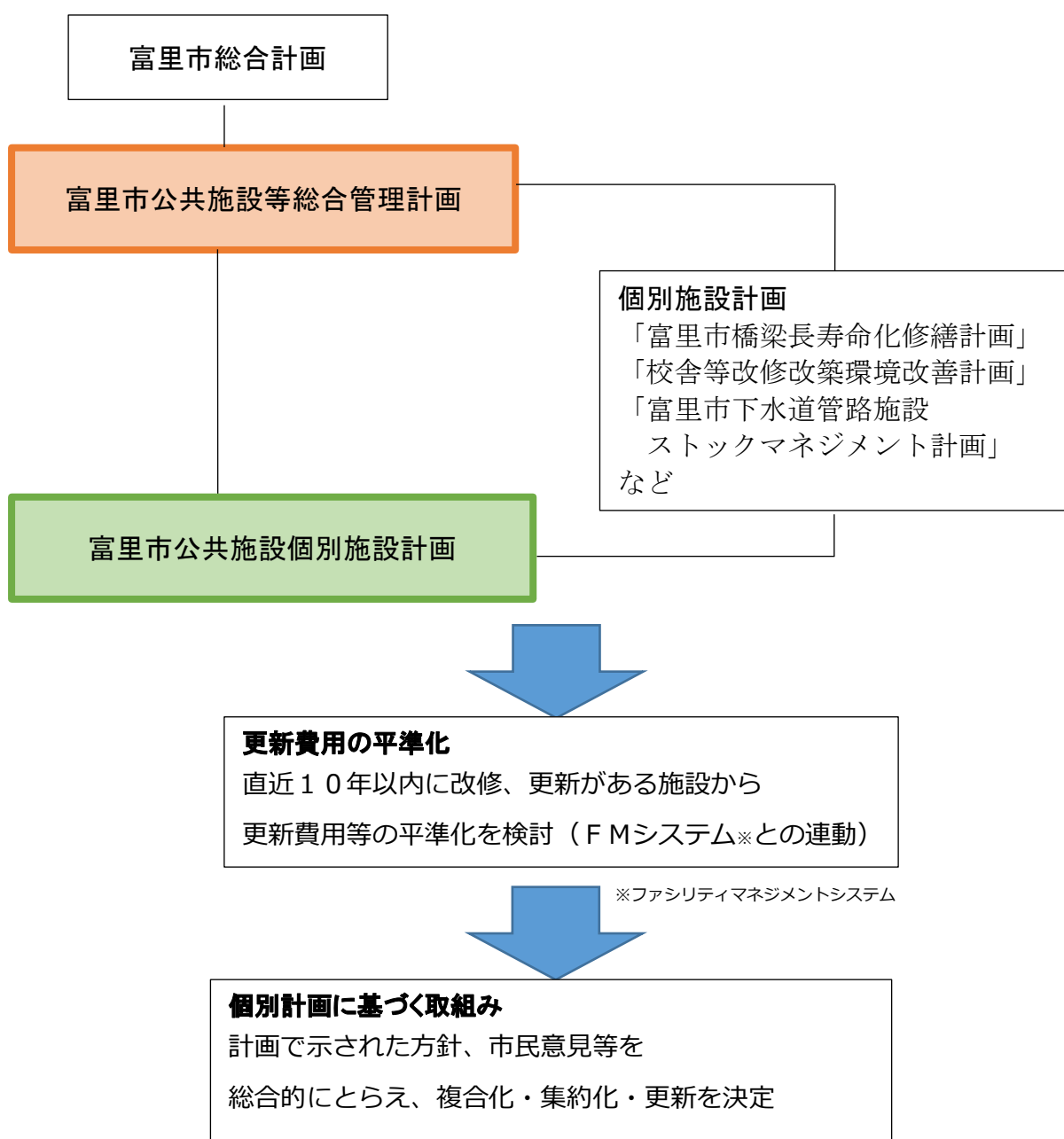
1. 計画の位置づけと関係

1) 計画の位置づけ

本計画書は、「富里市総合計画」と整合性を図るとともに、今後の公共施設のあり方について基本的な方向性を示す横断的な計画となります。

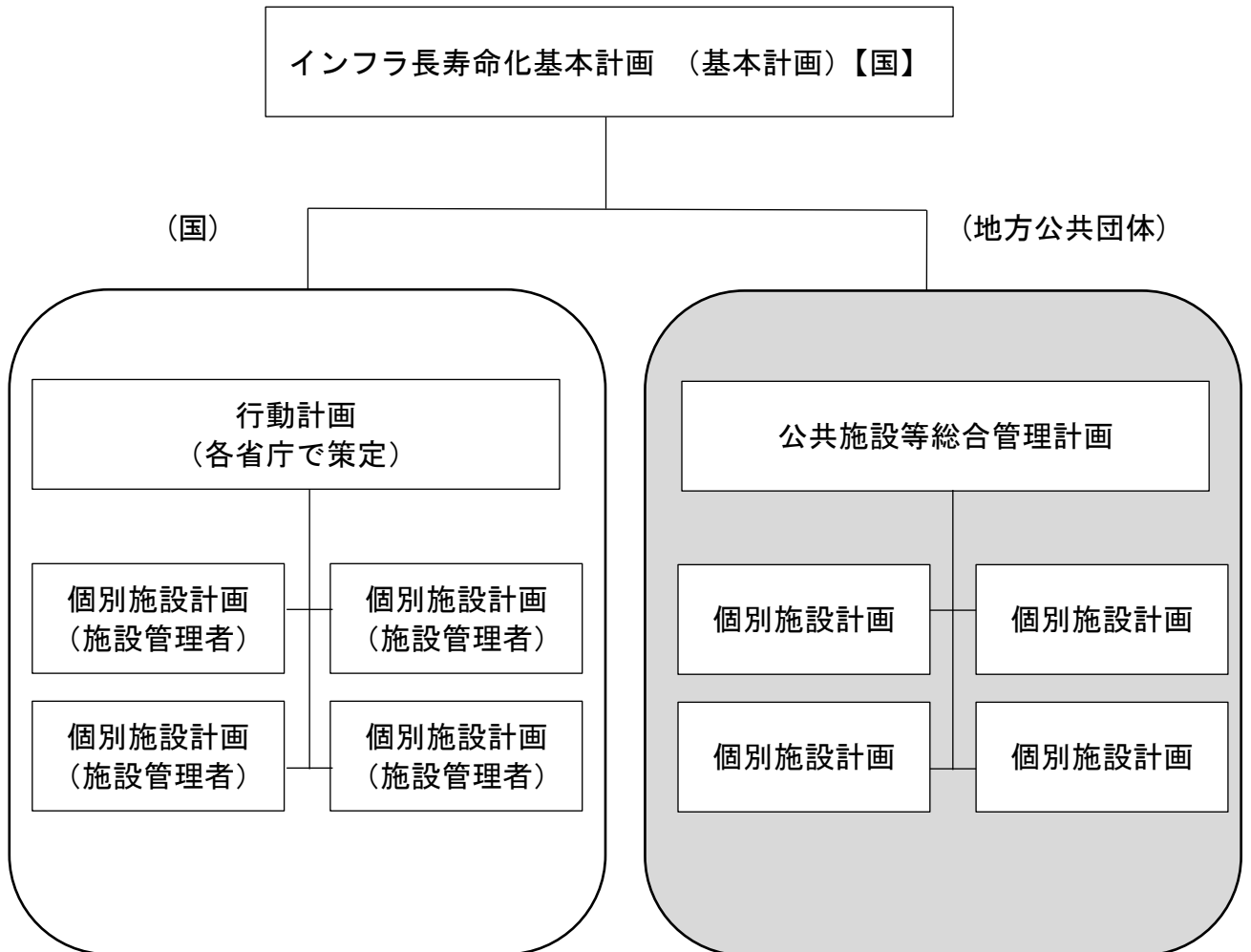
また、個別施設計画は、総合管理計画に基づいた施設ごとの具体的な対応方針を定めた計画であり、すべての公共施設を対象としています。

今後は、ファシリティマネジメントの導入を推進し、施設に係る経費の最小化や施設効用の最大化に努めます。



2) 計画の関係

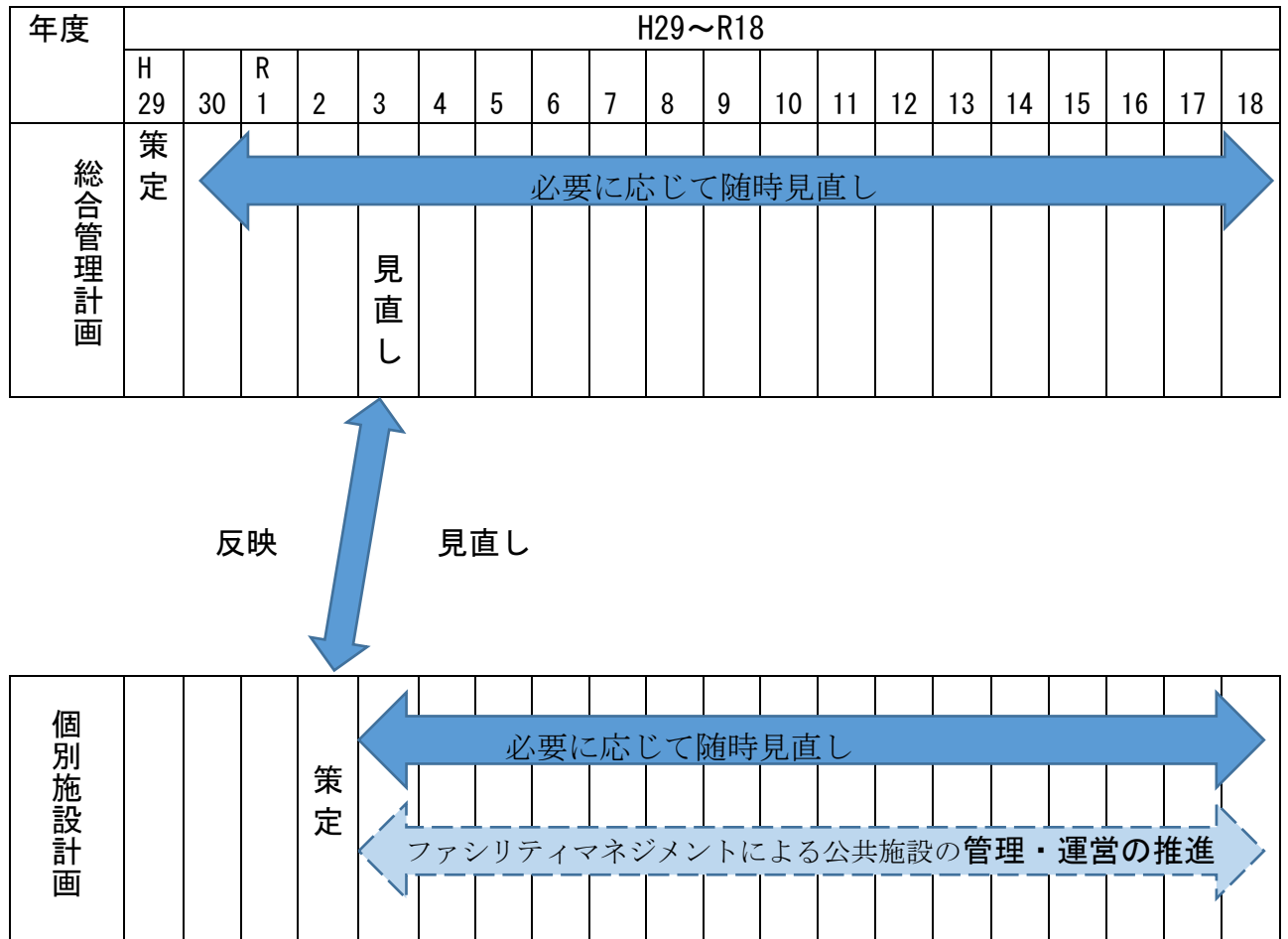
インフラ長寿命化基本計画(平成 25 年 11 月関係省庁連絡会議決定)に基づき、国及び地方公共団体計画を策定しています。



2. 計画期間

総合管理計画の最終年度に合わせ、令和 18 年度（2036 年度）までとし、総合計画及び各課の個別施設計画や事業との整合を図るとともに、財政状況や制度改正等、計画の前提条件に変更が生じた場合には、必要に応じ見直しを行います。

長期スケジュール



3. 個別施設計画の対象施設

「総合管理計画」に掲載されたもののうち、すでに個別施設計画を策定している、道路橋りょう、義務教育施設などを除く、すべての公共施設等を対象とします。

なお、公営企業(上水道事業・下水道事業)に係る計画については、企業会計で策定することとします。

表 1. 対象とする公共施設等（建築系公共施設）

大分類 番号	大 分 類	中分類 番号	中 分 類	施 設 名 称
1	学校教育系施設	2	幼稚園	富里市立富里幼稚園
		3	給食センター	富里市学校給食センター
2	子育て支援施設	1	認定こども園	葉山こども園
				向台こども園
		3	放課後児童クラブ	根木名学童クラブ
				浩養すいかキッズクラブ
4	その他	富里市こども館		
3	保健・福祉施設	2	福祉施設	富里市福祉センター
4	社会教育系施設	1	図書館	富里市立図書館
		2	公民館	富里中央公民館
		3	その他	富里市文化財収蔵庫 旧岩崎家末廣別邸
5	市民文化系施設	1	集会施設	富里市南部共同利用施設
				富里市旭共同利用施設
				富里市両国共同利用施設
				南七栄区民館
				ファミリータウン富里集会所
				根木名ニュータウン集会所
				根木名青年館
				日吉倉新田集会所
				高松青年館
				東七栄集会所
		七栄集会所		
2	コミュニティセンター	中部ふれあいセンター		
		富里北部コミュニティセンター		
6	産業系施設	1	産業系施設	富里市農林業センター
7	公園内建築物	1	公園内建築物	富里中央公園施設（管理棟・倉庫・トイレ・その他）
				新木戸大銀杏公園施設（屋外ステージ・トイレ）
				日吉台中央公園施設（トイレ）
				日吉台第2公園施設（トイレ）
				日吉台第3公園施設（トイレ）
				日吉台第4公園施設（トイレ）

				日吉台第5公園施設（トイレ）
				日吉台第6公園施設（トイレ）
				日吉台第7公園施設（トイレ）
				日吉台第8公園施設（トイレ）
				獅子穴公園施設（トイレ）
				しらかば公園施設（トイレ）
				つつじヶ丘公園施設（トイレ）
				富里工業団地公園施設（トイレ）
				富里第二工業団地第2公園施設（トイレ）
				葉山公園施設（トイレ）
8	行政系施設	1	庁舎等	富里市役所庁舎
				旧保健センター
	2	消防系施設	富里市消防本部消防署	
			富里市消防署北分署	
			第1分団消防機庫兼詰所	
			第2分団消防機庫兼詰所	
			第3分団消防機庫兼詰所	
			第4分団消防機庫兼詰所	
			第5分団消防機庫兼詰所	
			第6分団消防機庫兼詰所	
			第7分団消防機庫兼詰所	
			第8分団消防機庫兼詰所	
			第9分団消防機庫兼詰所	
			第10分団消防機庫兼詰所	
			第11分団消防機庫兼詰所	
			第11分団消防詰所	
			第12分団消防機庫	
			第13分団消防機庫兼詰所	
			第14分団消防機庫兼詰所	
			第15分団消防機庫兼詰所	
第16分団消防機庫兼詰所				
第16分団消防詰所				
第17分団消防機庫兼詰所				
第18分団消防機庫兼詰所				
第19分団消防機庫兼詰所				
9	スポーツ系施設	1	体育館	富里社会体育館
		2	運動場	高野運動広場 富里市営運動場
10	供給処理施設	1	ごみ処理施設	富里市クリーンセンター
		4	その他	富里第1家庭雑排水共同処理施設
				富里第2家庭雑排水共同処理施設
				富里第3家庭雑排水共同処理施設
				富里第4家庭雑排水共同処理施設

				富里第5家庭雑排水共同処理施設
11	その他建築系公共施設	1	待合所	富里バスターミナル
		3	その他	旧富里市教職員住宅 旧洗心小学校
12	その他土木系公共施設	1	その他土木系公共施設	ふるさと自然公園施設（トイレ）

第2章 施設の評価方針

1. 施設評価の方法

1) 各施設の方針の決定

各施設の方針は施設ごとに所管課で策定し、所管の部で総合的に判断・決定することとしています。

2) 個別施設計画個票(調査項目)

① 施設の役割

その施設の役割について、設置に関する関係法令や設置目的などを記載。

② 施設の利用状況

その施設の利用状況を示す「指標」を設定するとともにH29とH30の2年分の実績を記載。

(指標の設定については、他市の同施設の個別施設計画などを参考にして設定しています)

分類名	設定する指標の例
市民文化系施設	運営日数に対する稼働日数
社会教育系施設	運営日数に対する来場者あり日数
スポーツ系施設	運営日数に対する稼働日数
産業系施設	処理量、生産量、利用日数等
子育て支援施設	定員に対する利用者数
保健・福祉施設	運営日数に対する稼働日数
行政系施設	運営日数に対する稼働日数
供給処理施設	処理量

③ 管理運営にかかる経費(H29~H30実績)

維持管理に要する経費をH29とH30の2年分の実績を千円単位で記載。

なお、対象経費は光熱水費、施設の管理に関する委託料などで、人件費は除いています。

④ 使用料等の収入(H29~H30実績)

施設の利用にあたり、使用料等を徴収している場合は、H29とH30の2年分の実績を千円単位で記載。

⑤ 方向性判断フロー結果

建物評価点、サービス評価点(稼働率・重要度・サービス評価)から、客観的に方向性を4つの区分(①存続、②存続・廃止、③存続・廃止、④廃止等)に分類。

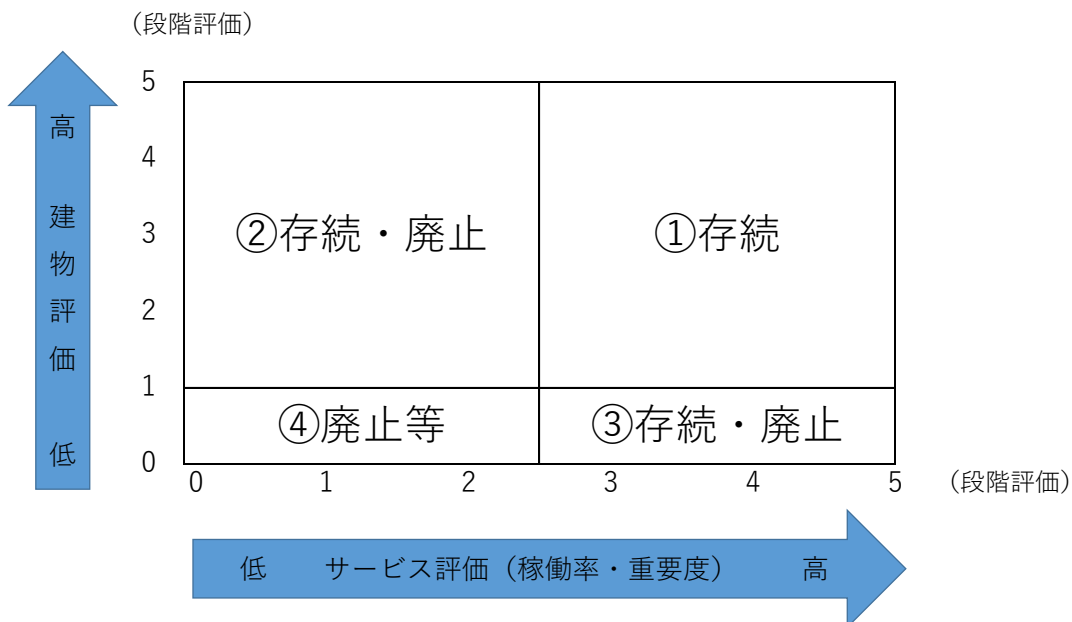
- ⑥ **施設の現状と課題**
上記①～⑤を参考に、現状と課題を抽出。
- ⑦ **今後の概算費用（R18までの合計）**
保全マネジメントシステムにより、計画期間（R3～R18）の標準的な必要経費の累計額を試算。
- ⑧ **今後の見通し・検討の方向性**
今後の施設の見通しや検討の方向性について記載。
- ⑨ **今後の方向性**
総合的な判断により、施設に関する方向性を判断する。

2. 方向性判断フローの基準

方向性の判断にあたっては、できる限り客観的に評価することが必要なことから、建物評価点とサービス評価点を算定し、下の表にあてはめています。

方向性判断フロー

建物評価とサービス評価を各々5段階に点数化し、4つの類型に分ける。



① (建物評価点数)

施設の構造による耐用年数から、客観的に建物評価点を算出しています。

《計算式》

$\text{築年} + \text{耐用年数} - \text{現年} = \text{残寿命年数}$
 $(\text{残寿命年数} / \text{耐用年数}) \times 5 \text{点} = \text{建物評価点}$
 ※減価償却資産の耐用年数等に関する省令による
 ※評価点がマイナスの場合、0点とする

(例) 1975年(昭和50年) 築鉄骨鉄筋RC
 $1975年 + 50年 - 2020年 = 5年$
 $(5年 / 50年) \times 5点 = 0.5点$

② サービス評価点数

稼働率、重要度を算出後、下記の表のどこに当たるかを確認し、1～5点の間で判定します。なお、稼働率が「-」の場合は、施設の重要度のみで算定しています。

施設の重要度	高	3	4	5
	中	2	3	4
	低	1	2	3
		0～ 30%	31%～ 70%	71%～ 100%
	C	B	A	
		稼働率		

(稼働率)

「個別施設計画 個票の② 施設の利用状況」で設定した指標を基に稼働率を算定します。なお、算定に当たってはH30のデータを基に算出していますが、H30に特別な事情があった場合はH29のデータを使用することとします。

(施設の重要度)

施設の重要度を、目的、利用対象、市民からのニーズ、類似機能の存在、防災上の必要性などを考慮しながら、「高」「中」「低」を判定します。

第3章 施設の評価

1. 総合管理計画の概要

上位計画にあたる、総合管理計画では以下のような基本的な考え方、基本方針が示されており、個別施設計画においても、この方針は継承するものです。

今後の公共施設等の計画的な維持管理と有効活用に関する基本的な考え方

今後急増する老朽化施設、将来人口の減少及び
厳しい財政状況等を踏まえつつ、
“持続可能なまちづくり”を実現するために…



基本方針1：適正な維持管理

- ◆ 公共施設等の老朽化状況や利用状況等を踏まえて、中長期的な観点から施設の有効活用と財政負担の軽減を図りながら、施設の長寿命化も含めた適正な維持管理の実施に努めます。

基本方針2：サービスの適正化

- ◆ 少子高齢化や人口減少の進行に伴う、今後の利用需要の変化に対しては、既存施設の用途変更や官民連携手法の活用を検討すること等で、財政負担の軽減を図りながらサービスの適正化に努めます。

2. 施設類型毎の施設の方針

1) 学校教育系施設

《総合管理計画における基本方針》

学校教育系施設は、バリアフリー化・エアコンやトイレなどの環境整備を実施するなど、適正な維持管理を推進します。

なお、学校は、今後の少子化に伴って増加が見込まれる余裕教室の扱いについて、警備上の配慮をした上で一般開放などの積極的な利活用を検討します。

さらに、学校プールは季節利用の施設であることもあり、学校間での共用や官民連携の観点から民間のスポーツ施設の利用を推進します。

幼稚園は、「富里市子ども・子育て支援事業計画」に基づいて、既存施設の適正な維持管理と施設の有効活用に努めます。

給食センターは、適正な維持管理を実施して中長期的な利用や安全と衛生の確保に努めます。

対象施設

No.	施設名	延べ床面積(m ²)	建築年度	建物評価点	サービス評価点	フロー結果	方向性
1	富里市立富里幼稚園	1299.00	S62	1.7	5	①存続	存続(現状維持)
2	富里市学校給食センター	2716.04	H26	4.2	5	①存続	存続(現状維持)

個別施設計画 個票

大分類・中分類	学校教育系施設	幼稚園
施設名称	富里市立富里幼稚園	
担当課	子育て支援課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	幼児に対する質の高い教育・保育を提供する場所として設置。 関係法令：学校教育法					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
		140人	H29	123人			
			H30	124人			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	5,631 (千円)		H30	4,511 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	8,897 (千円)		H30	9,311 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	1.7	稼働率	重要度	サービス評価	①存続		
	⑥施設の現状と課題	昭和62年度建築、鉄筋コンクリート造2階建ての園舎は老朽化が進んでいる。 老朽化（築33年）による建物の劣化や設備の故障が突発的に起こる。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	110,644 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	必要最小限の修繕等を実施しながら使用していく。 建物の状況や園児数を見ながら、その後の方針を検討する。					
	⑨今後の方向性 (担当課判断)	存続 (現状維持)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	学校教育系施設	給食センター
施設名称	富里市学校給食センター	
担当課	学校教育課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	給食センターは、学校給食法(昭和29年法律第160号)第2条に規定する目標を達成するため、富里市立小学校、中学校及び幼稚園の学校給食のため、調理等の業務を一括処理するものとして設置されている。 関係法令：学校給食法、富里市学校給食センターの設置及び管理に関する条例					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
		給食実施回数 190回/年	H29	190回/年			
	H30		190回/年				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	4,274 (千円)		H30	3,685 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
4.2	稼働率	重要度	サービス評価		①存続		
⑥施設の現状と課題	ボイラー等の設備については、定期的に保守点検を実施しており、故障等については、設備等点検による指摘等により適時修繕を実施している。運用開始から7年目の施設であり、当面の間は、都度の修繕での対応となるが、年数の経過により建物関係の劣化の他、各設備の劣化が進み、大規模修繕、更新が必要になる。						
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	66,388 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	学校給食の提供を目的とする施設であることから継続する必要がある。今後も施設、設備の適切な維持管理が必要である。					
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)					

2) 子育て支援施設

《総合管理計画における基本方針》

子育て支援施設については、今後の少子化の見込みを踏まえて、認定こども園・富里市こども館等の既存施設の有効活用を図りながら、その他の施設の利活用を図るなど、施設の複合化や民間との連携を推進して、維持管理費用の低減を図ります。

また、子育てに対するニーズへの的確な対応を図るために、バリアフリー化・安全性の確保等に努めます。

放課後児童クラブは、学校教育系施設との連携を図って、適正な維持管理を行います。

対象施設

No.	施設名	延べ床面積(m ²)	建築年度	建物評価点	サービス評価点	フロー結果	方向性
1	葉山こども園	1167.22	H18・19	3.2	5	①存続	存続(現状維持)
2	向台こども園 (既存建物分)	698.00	H13	1.0	5	①存続	存続(現状維持)
3	向台こども園 (増築分)	519.00	H28	4.2	5	①存続	存続(現状維持)
4	根木名学童クラブ	115.02	H17	1.6	3	①存続	存続(現状維持)
5	浩養すいかキッズクラブ	117.57	H24	3.3	3	①存続	存続(現状維持)
6	富里市こども館	447.86	H28	4.2	5	①存続	存続(現状維持)

個別施設計画 個票

大分類・中分類	子育て支援施設	認定こども園
施設名称	葉山こども園	
担当課	子育て支援課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	保育園と幼稚園の機能をあわせもった施設で、入園児の健全な心身の発達を図り、子育て家庭への支援を行う場所として設置。 関係法令：子育て支援法、児童福祉法、富里市立幼保連携型認定こども園の設置及び管理に関する条例				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
		定員150人	H29	136人		
			H30	125人		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	55,500（千円）	H30	43,150（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	83,885（千円）	H30	79,600（千円）	
⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	3.2	稼働率 71%～100%	重要度 高	サービス評価 5		
⑥施設の現状と課題	平成18年度建築、鉄骨造1階建て 築14年による建物外壁の劣化や設備の故障が突発的に起こる。 機能維持のための計画的な修繕が必要である。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	10,590（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	建物外壁、屋根の塗装。 設備の計画的な修繕。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	子育て支援施設	認定こども園
施設名称	向台こども園（既存建物分）	
担当課	子育て支援課	

	①施設の役割 （施設の目的・関係法令など） 保育園と幼稚園の機能をあわせもった施設で、入園児の健全な心身の発達を図り、子育て家庭への支援を行う場所として設置。 関係法令：子育て支援法、児童福祉法、富里市立幼保連携型認定こども園の設置及び管理に関する条例				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値	
		定員108人		H29	92人
				H30	102人
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	28,086（千円）	H30	24,550（千円）
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	42,451（千円）	H30	45,289（千円）
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価		
	稼働率	重要度	サービス評価	⇒	
	1.0	71%～100%	高	5	①存続
⑥施設の現状と課題	平成13年度建築、木造1階建て 築19年による建物外壁の劣化や設備の故障が突発的に起こる。 機能維持のための計画的な修繕が必要である。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	29,692（千円）			
	⑧今後の見通し・検討の方向性	建物外壁、屋根の塗装。 設備の計画的な修繕。			
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）			

個別施設計画 個票

大分類・中分類	子育て支援施設	認定こども園
施設名称	向台こども園（増築分）	
担当課	子育て支援課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など) 認定こども園：0歳児から1歳児 地域子育て支援拠点事業：市内在住の就学前児童とその保護者 一時預かり事業：0歳児から5歳児 上記の子育てに関する機能を提供する場所として設置 関係法令：子育て支援法、児童福祉法、富里市立幼保連携型認定こども園の設置及び管理に関する条例					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標（⑤の稼働率の指標）		数値	
				H29	開所日数244日	
		H30	開所日数249日			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	20,884（千円）	H30	18,255（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	31,565（千円）	H30	33,675（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
		稼働率	重要度	サービス評価		
	4.2	71%～100%	高	5		①存続
⑥施設の現状と課題	平成28年度建築、木造1階建て 比較的新しい建物のため現状では課題は特にないが、必要最小限の保全処置を講じながら使用していく。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	4,708（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図る。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	子育て支援施設	放課後児童クラブ
施設名称	根木名学童クラブ	
担当課	子育て支援課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を預かり、適切な遊びや生活の場を提供し、健全育成を行う場所として設置。 関係法令：児童福祉法、子ども・子育て支援法					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
		定員50人	H29	12人			
			H30	13人			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	1,640 (千円)		H30	1,581 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	1.6	稼働率	重要度	サービス評価	①存続		
	⑥施設の現状と課題	平成17年度建築、軽鉄プレハブ造1階建て 築15年による建物外壁の劣化や建具の故障が突発的に起こる。 機能維持のための計画的な修繕が必要である。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	4,661 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	建物外壁、屋根の塗装。 必要最小限の修繕等を実施しながら使用していく。 他の学童クラブと連携し効率よく運営できるよう努める。					
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	子育て支援施設	放課後児童クラブ
施設名称	浩養すいかキッズクラブ	
担当課	子育て支援課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を預かり、適切な遊びや生活の場を提供し、健全育成を行う場所として設置。 関係法令：児童福祉法、子ども・子育て支援法					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
		定員50人	H29	8人			
			H30	11人			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	1,093 (千円)		H30	1,338 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	3.3	稼働率	重要度	サービス評価	①存続		
	⑥施設の現状と課題	平成24年度建築、木造1階建て 比較的新しい建物のため現状では特にないが、必要最小限の保全処置を講じながら使用していく。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	1,069 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図る。他の学童クラブと連携し効率よく運営できるよう努めます。					
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	子育て支援施設	その他
施設名称	富里市こども館	
担当課	子育て支援課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	地域子育て支援拠点事業：市内在住の就学前児童とその保護者 一時預かり事業：0歳児から5歳児 放課後児童健全育成事業 上記の子育てに関する機能を提供する場所として設置 関係法令：児童福祉法、子ども・子育て支援法					
施設の現況、 評価、 課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
		運営日数292日	H29	開館日数292日			
	H30		開館日数292日				
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	30,904（千円）		H30	30,897（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	4.2	稼働率	重要度	サービス評価	①存続		
	⑥施設の現状と課題	平成28年度建築、木造1階建て 比較的新しい建物のため現状では特にないが、必要最小限の保全処置を講じながら使用していく。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	4,067（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図る。					
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）					

3) 保健・福祉施設

《総合管理計画における基本方針》

保健・福祉施設は、市民の利便性の向上や機能の拡充などのサービスの充実に努めるとともに適正な維持管理に努めます。

なお、保健施設は、適正な維持管理による中長期的な利用や、安全と衛生の確保に努めます。

また、福祉施設は、今後一層の高齢化の進行に伴い、その需要が増加してくるものと考えられることから、サービスの提供と施設の適正な維持管理を行います。

対象施設

No.	施設名	延べ床面積(m ²)	建築年度	建物評価点	サービス評価点	フロー結果	方向性
1	富里市福祉センター	2683.93	S61 ~ H14	1.7	5	①存続	存続(現状維持)

個別施設計画 個票

大分類・中分類	保健・福祉施設	福祉施設
施設名称	富里市福祉センター	
担当課	社会福祉課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	施設の目的：住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設 関係法令：地方自治法第244条、富里市福祉センターの設置及び管理に関する条例				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
		老人福祉センター、地域福祉センター、簡易マザーズホームの各部屋の利用件数を指標とする。	H29	3,021件		
	H30		3,238件			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	11,832（千円）		H30	11,528（千円）
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
	稼働率	重要度	サービス評価			
	1.7	71%～100%	高	5		①存続
今後の方針	⑥施設の現状と課題	昭和61年度に竣工してから32年経過し、老朽化が進行している。施設全体に経年劣化が進行し一部機能に支障が出ていることから、修繕を行い建物の長寿命化を図っている。施設利用の現状については、老人福祉センターはカラオケ、囲碁・将棋などの設備を備え、各団体等の福祉の向上のために利用している。地域福祉センターは民生委員による心配ごと相談事業等による利用があり、簡易マザーズホームは児童発達支援に活用している。				
	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	260,728（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	通常利用のほか、災害時には福祉避難所としての利用もあることから各設備の修繕を検討しており、今後も現在の建物を使用するものである。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

4) 社会教育系施設

《総合管理計画における基本方針》

図書館は、設備改修・更新費用の縮減と平準化を行い、サービスの充実に努めるとともに適正な維持管理に努めます。

また、公民館は、今後の利用者数の動向、施設の規模及び立地条件等を勘案しながら、複合化や多機能化等の今後の利用活用方針を検討します。

その他、文化財収蔵庫は維持管理費用の低減に努めつつ、機能維持に必要な適正な維持管理を行い、「旧岩崎家末廣別邸」については、一般公開に向けた建物の修復や園庭の整備保存に努め、さらに、市の活性化に寄与する施設として有効活用を図ります。

対象施設

No.	施設名	延べ床面積	建築年度	建物評価点	サービス評価点	フロー結果	方向性
1	富里市立図書館	3787.53	H14	2.6	5	①存続	存続（現状維持）
2	富里中央公民館	4576.14	S58	1.3	3	①存続	存続（現状維持）
3	富里市文化財収蔵庫	328.06	H13	2.5	4	①存続	存続（現状維持）
4	旧岩崎家末廣別邸（休憩所）	29.28	S1	0.0	3	③存続・廃止	存続（多機能化）
5	旧岩崎家末廣別邸（居宅）	446.23	S1	0.0	3	③存続・廃止	存続（多機能化）
6	旧岩崎家末廣別邸（倉庫）	22.00	S1	0.0	3	③存続・廃止	存続（多機能化）

個別施設計画 個票

大分類・中分類	社会教育系施設	図書館
施設名称	富里市立図書館	
担当課	図書館	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	図書館は、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設である。 関係法令：図書館法、富里市立図書館条例、富里市立図書館の管理及び運営に関する規則				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
		入館者数	H29	287,894人		
			H30	241,843人		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	19,711（千円）		H30	18,333（千円）
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	68（千円）		H30	76（千円）
⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	2.6	稼働率	重要度	サービス評価		①存続
	⑥施設の現状と課題	図書館は、築約17年を経過していることもあり、中央監視制御装置の更新、屋上防水や外壁の改修等に多額の費用を要する設備の老朽化が顕著になっており、施設設備の計画的な改修が必要である。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	334,318（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	図書館は、施設改修・更新費用の縮減と平準化を行い、サービスの充実に努めるとともに適正な維持管理を行う。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	社会教育系施設	公民館
施設名称	富里中央公民館	
担当課	生涯学習課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	地域の学習拠点としての機能の発揮、地域の家庭教育支援拠点としての機能の発揮、奉仕活動・体験活動の推進、学校、家庭及び地域社会との連携等、地域の実情を踏まえた運営 関係法令：社会教育法(第五章)第23条の2に基づく「公民館の設置及び運営に関する基準」(平成15年6月6日文科科学省告示第112号)				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値		
		開館日数×3単位(1日の使用単位は午前、午後、夜間)に対する使用区分数11(各部屋等の数)毎の使用回数で稼働率を算出	H29	開館日数295日 使用回数の合計4,130 稼働率の平均42.42%		
	H30		開館日数294日 使用回数の合計3,918 稼働率の平均40.38%			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	17,633 (千円)		H30	19,088 (千円)
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	2,643 (千円)		H30	2,896 (千円)
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
	1.3	稼働率	重要度	サービス評価	①存続	
	⑥施設の現状と課題	富里市内の公民館数は1施設。富里中央公民館は昭和58年(1983年)竣工。竣工から37年経過、施設及び設備の劣化が進行しているため、大規模な改修や更新が必要。毎年、小規模な修繕を実施しているが、延命化までには至っていない。				
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	444,044 (千円)				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	地域の学習拠点等の機能維持や施設や設備の維持管理が主なものとなる。また、施設や設備の大規模改修や更新を検討していく必要がある。				
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	社会教育系施設	その他
施設名称	富里市文化財収蔵庫	
担当課	生涯学習課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	市内で発見・出土した古文書や土器等の文化財の保管を目的として設置されている。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
		富里市文化財収蔵庫については、文化財の保管が主な目的になるので、常に稼働している状態であると考えられる。	H29	100%			
			H30	100%			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	313 (千円)		H30	469 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価		①存続		
	2.5	71%～100%	中	4			
	⑥施設の現状と課題	金属部の腐食や建物の一部破損が見られるため、修繕が必要と思われる。 また、保管場所に余裕が無くなってきているため整理の検討等が必要である。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	25,036 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	建物の一部修繕と、収蔵庫内を整理することで保管場所を確保し、引き続き使用していきたい。					
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	社会教育系施設	その他
施設名称	旧岩崎家末廣別邸（休憩所）	
担当課	生涯学習課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	富里市の歴史的文化的遺産として、国登録有形文化財に登録されている。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
		旧岩崎家末廣別邸については、建物を含む敷地全体を歴史公園として公開する予定であり、現在非公開のため稼働は無い状態とする。	H29	—		
	H30		—			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	1,078（千円）		H30	1,639（千円）
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
	稼働率	重要度	サービス評価		③存続・廃止	
	0.0	0%～30%	高	3		
	⑥施設の現状と課題	平成24年に寄付を受けてから、主だった修繕は実施できていないため、全面的な公開に向けて整備を行う必要がある。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	231（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	敷地を歴史公園として整備するとともに、並行して整備を行い旧岩崎久彌末廣農場別邸公園（仮称）として全面的な公開に向けて整備を行っていく。				
	⑨今後の方向性	存続（多機能化）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	社会教育系施設	その他
施設名称	旧岩崎家末廣別邸（居宅）	
担当課	生涯学習課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	富里市の歴史的文化的遺産として、国登録有形文化財に登録されている。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
		旧岩崎家末廣別邸については、建物を含む敷地全体を歴史公園として公開する予定であり、現在非公開のため稼働は無い状態とする。	H29	—			
	H30		—				
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	1,078（千円）		H30	1,639（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	0.0	稼働率	重要度	サービス評価	③存続・廃止		
	⑥施設の現状と課題	平成24年に寄付を受けてから、主だった修繕は実施できていないため、全面的な公開に向けて整備を行う必要がある。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	3,566（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	敷地を歴史公園として整備するとともに、並行して整備を行い旧岩崎久彌末廣農場別邸公園（仮称）として全面的な公開に向けて整備を行っていく。					
	⑨今後の方向性	存続（多機能化）					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	社会教育系施設	その他
施設名称	旧岩崎家末廣別邸（倉庫）	
担当課	生涯学習課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	富里市の歴史的文化的遺産として、国登録有形文化財に登録されている。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
		旧岩崎家末廣別邸については、建物を含む敷地全体を歴史公園として公開する予定であり、現在非公開のため稼働は無い状態とする。	H29	—			
	H30		—				
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	1,078（千円）		H30	1,639（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価		③存続・廃止		
	0.0	0%～30%	高	3			
	⑥施設の現状と課題	平成24年に寄付を受けてから、主だった修繕は実施できていないため、全面的な公開に向けて整備を行う必要がある。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	177（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	敷地を歴史公園として整備するとともに、並行して整備を行い旧岩崎久彌末廣農場別邸公園（仮称）として全面的な公開に向けて整備を行っていく。					
	⑨今後の方向性	存続（多機能化）					

5) 市民文化系施設

《総合管理計画における基本方針》

集会施設は、各区・自治会に貸与していることから、適正な維持管理をお願いするとともに、地域の拠点としての機能を維持できるように支援します。

コミュニティセンターは、集会施設との機能の分担を踏まえて、適正な維持管理とサービスの適正化を図ります。

また、サービスの提供に関しては、総量の抑制に努めつつ、用途廃止された施設を転用するなどして、既存の施設の有効活用を図りながら、幅広い市民のニーズに応えられるように努めます。

その他、市民活動サポートセンターは、すこやかセンターとの連携を図り、適正な維持管理を行います。

対象施設

No.	施設名	延べ床面積	建築年度	建物評価点	サービス評価点	フロー結果	方向性
1	富里市南部共同利用施設	136.85	H2	0.5	3	③存続・廃止	存続（集約化）
2	富里市旭共同利用施設	108.00	S60	0.5	3	③存続・廃止	存続（集約化）
3	富里市両国共同利用施設	144.25	S62	0.5	3	③存続・廃止	存続（集約化）
4	南七栄区民会館	182.63	S56	0.0	4	③存続・廃止	廃止（民間譲渡）
5	ファミリータウン富里集会所	100.20	S56	0.0	4	③存続・廃止	廃止（民間譲渡）
6	根木名ニュータウン集会所	116.48	H1	0.0	4	③存続・廃止	廃止（民間譲渡）
7	根木名青年館	110.28	S44	0.0	2	④廃止等	廃止（民間譲渡）
8	日吉倉新田集会所	197.70	S63	0.0	4	③存続・廃止	廃止（民間譲渡）
9	高松青年館	87.76	S50	0.0	4	③存続・廃止	廃止（民間譲渡）
10	東七栄集会所	200.40	H3	0.0	4	③存続・廃止	廃止（民間譲渡）
11	七栄集会所	117.97	S47	0.0	4	③存続・廃止	廃止（民間譲渡）
12	中部ふれあいセンター	528.43	H7	2.5	4	①存続	存続（現状維持）
13	富里北部コミュニティセンター	1502.3	H4	2.2	5	①存続	存続（現状維持）

個別施設計画 個票

大分類・中分類	市民文化系施設	集会施設
施設名称	富里市南部共同利用施設	
担当課	企画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	航空機騒音による障害の緩和、地域住民の学習・保育・休養又は集会の用に供するための施設。 関係法令：公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
		施設利用日数		H29	32日		
				H30	29日		
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	262 (千円)		H30	257 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
	稼働率	重要度	サービス評価			③存続・廃止	
	0.5	0%～30%	高	3			
⑥施設の現状と課題	建築後、大きな修繕等もなく30年経過している。 目視のみだが屋根の劣化が見られる。 空調施設が何度か不具合があったが現状では正常に稼働している。 地域的に雨水排水の問題があり、敷地内に簡易的な排水施設（溝を掘って一時的に溜められるように）を設置。（R2.9月）						
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	8,880 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	横風用滑走路に係る騒防法第一種区域については、令和3年3月31日で区域解除になった。 今後は他の集会施設と同じような位置付けで検討する必要がある。					
	⑨今後の方向性	存続（集約化）					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	市民文化系施設	集会施設
施設名称	富里市旭共同利用施設	
担当課	企画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	航空機騒音による障害の緩和、地域住民の学習・保育・休養又は集会の用に供するための施設。 関係法令：公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
		施設利用日数	H29	33日			
			H30	39日			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	175 (千円)		H30	165 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	0.5	稼働率	重要度	サービス評価	③存続・廃止		
	⑥施設の現状と課題	建築後、大きな修繕等もなく30年経過している。 目視のみだが屋根の劣化が見られる。 空調施設が何度か不具合があったが現状では正常に稼働している。 水は井戸水を利用しているが、浄水器を撤去したので、飲用はペットボトルで対応。(畑地帯のため窒素が多い) ※稼働率が低いので浄水器を設置しても維持管理できない。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	7,440 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	横風用滑走路に係る騒防法第一種区域については、令和3年3月31日で区域解除になった。 今後は他の集会施設と同じような位置付けで検討する必要がある。					
	⑨今後の方向性	存続 (集約化)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	市民文化系施設	集会施設
施設名称	富里市両国共同利用施設	
担当課	企画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	航空機騒音による障害の緩和、地域住民の学習・保育・休養又は集会の用に供するための施設。 関係法令：公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
		施設利用日数		H29	41日		
				H30	36日		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	337（千円）		H30	328（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）	
⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
	0.5	稼働率	重要度	サービス評価		③存続・廃止	
⑥施設の現状と課題	建築後、大きな修繕等もなく30年経過している。 目視のみだが屋根の劣化が見られる。 空調施設については現状では正常に稼働しているが、耐用年数を過ぎているため、近い将来に更新が必要になると考えられる。						
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	10,000（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	横風用滑走路に係る騒防法第一種区域については、令和3年3月31日で区域解除になった。 今後は他の集会施設と同じような位置付けで検討する必要がある。					
	⑨今後の方向性	存続（集約化）					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	市民文化系施設	集会施設
施設名称	南七栄区民会館	
担当課	市民活動推進課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	地域コミュニティの拠点の場として活用					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	—		H30	—	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	—		H30	—	
⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
		稼働率	重要度	サービス評価		③存続・廃止	
		0.0	—	高	4		
	⑥施設の現状と課題	貸付契約により区等が使用している。 老朽化により修繕をする箇所が年々増えている。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	— (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	建設及び修繕に関しては、区等が行うこととなっており、既存建物の解体については市が行う。 土地・建物ともに使用している区等へ譲渡をしたいが、現状では法人格を有していないため困難である。					
	⑨今後の方向性	廃止 (民間譲渡)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	市民文化系施設	集会施設
施設名称	ファミリータウン富里集会所	
担当課	市民活動推進課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	地域コミュニティの拠点の場として活用					
施設の 現況、 評価、 課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる 経費 (H29～H30実績)	H29	—		H30	—	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	—		H30	—	
	⑤方向性判断フロー 結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価		③存続・廃止		
		0.0	—	高	4		
	⑥施設の現状と課題	貸付契約により区等が使用している。 老朽化により修繕をする箇所が年々増えている。					
今後の 方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	— (千円)					
	⑧今後の見通し・ 検討の方向性	建設及び修繕に関しては、区等が行うこととなっており、既存建物の解体については市が行う。 土地・建物ともに使用している区等へ譲渡をしたいが、現状では法人格を有していないため困難である。					
	⑨今後の方向性	廃止 (民間譲渡)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	市民文化系施設	集会施設
施設名称	根木名ニュータウン集会所	
担当課	市民活動推進課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	地域コミュニティの拠点の場として活用					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	—		H30	—	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	—		H30	—	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価	③存続・廃止			
		0.0	—	高	4		
	⑥施設の現状と課題	貸付契約により区等が使用している。 老朽化により修繕をする箇所が年々増えている。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	— (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	建設及び修繕に関しては、区等が行うこととなっており、既存建物の解体については市が行う。 土地・建物ともに使用している区等へ譲渡をしたいが、現状では法人格を有していないため困難である。					
	⑨今後の方向性	廃止 (民間譲渡)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	市民文化系施設	集会施設
施設名称	根木名青年館	
担当課	市民活動推進課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				地域コミュニティの拠点の場として活用			
施設の現況、 評価、 課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			—		H29	—		
					H30	—		
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	—		H30	—	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	—		H30	—	
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
		稼働率	重要度	サービス評価		④廃止等		
		0.0	—	低	2			
⑥施設の現状と課題		貸付契約により区等が使用している。 老朽化により修繕をする箇所が年々増えている。						
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		— (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性		建設及び修繕に関しては、区等が行うこととなっており、既存建物の解体については市が行う。 土地・建物ともに使用している区等へ譲渡をしたいが、現状では法人格を有していないため困難である。					
	⑨今後の方向性		廃止 (民間譲渡)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	市民文化系施設	集会施設
施設名称	日吉倉新田集会所	
担当課	市民活動推進課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	地域コミュニティの拠点の場として活用					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	—		H30	—	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	—		H30	—	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価	③存続・廃止			
	0.0	—	高	4			
⑥施設の現状と課題	貸付契約により区等が使用している。 老朽化により修繕をする箇所が年々増えている。						
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	— (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	建設及び修繕に関しては、区等が行うこととなっており、既存建物の解体については市が行う。 土地・建物ともに使用している区等へ譲渡をしたいが、現状では法人格を有していないため困難である。					
	⑨今後の方向性	廃止 (民間譲渡)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	市民文化系施設	集会施設
施設名称	高松青年館	
担当課	市民活動推進課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	地域コミュニティの拠点の場として活用					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	—		H30	—	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	—		H30	—	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価	③存続・廃止			
	0.0	—	高	4			
	⑥施設の現状と課題	貸付契約により区等が使用している。 老朽化により修繕をする箇所が年々増えている。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	— (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	建設及び修繕に関しては、区等が行うこととなっており、既存建物の解体については市が行う。 土地・建物ともに使用している区等へ譲渡をしたいが、現状では法人格を有していないため困難である。					
	⑨今後の方向性	廃止 (民間譲渡)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	市民文化系施設	集会施設
施設名称	東七栄集会所	
担当課	市民活動推進課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	地域コミュニティの拠点の場として活用					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	—		H30	—	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	—		H30	—	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価		③存続・廃止		
	0.0	—	高	4			
	⑥施設の現状と課題	貸付契約により区等が使用している。 老朽化により修繕をする箇所が年々増えている。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	— (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	建設及び修繕に関しては、区等が行うこととなっており、既存建物の解体については市が行う。 土地・建物ともに使用している区等へ譲渡をしたいが、現状では法人格を有していないため困難である。					
	⑨今後の方向性	廃止 (民間譲渡)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	市民文化系施設	集会施設
施設名称	七栄集会所	
担当課	市民活動推進課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	地域コミュニティの拠点の場として活用					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	—		H30	—	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	—		H30	—	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価		③存続・廃止		
	0.0	—	高	4			
	⑥施設の現状と課題	貸付契約により区等が使用している。 老朽化により修繕をする箇所が年々増えている。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	— (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	建設及び修繕に関しては、区等が行うこととなっており、既存建物の解体については市が行う。 土地・建物ともに使用している区等へ譲渡をしたいが、現状では法人格を有していないため困難である。					
	⑨今後の方向性	廃止 (民間譲渡)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	市民文化系施設	コミュニティセンター
施設名称	中部ふれあいセンター	
担当課	市民活動推進課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	市民のコミュニティの場として活用。 潤いとゆとりがあるふるさとづくりを推進し、市民の連帯意識を高め、自主的な活動の場を通して健康で文化的な地域コミュニティを形成する。 関係法令：地方自治法第244条の2第1項				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値		
		年間利用件数	H29	1,847件		
			H30	1,980件		
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	15,455 (千円)	H30	3,167 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	1,063 (千円)	H30	1,281 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
2.5	稼働率	重要度	サービス評価	①存続		
⑥施設の現状と課題	建設から25年が経過しているため、修繕箇所も徐々に増えてきているが、地域に根付いたコミュニティ施設として、市民の様々な活動の場であり、災害時の一時避難所としても位置付けられているので、重要度は高い。 電気代の節約と、利用者の環境改善のためにも、照明のLED化が今後の課題である。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	65,799 (千円)				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	館内電灯のLED化を検討し、電気料の削減を図るとともに、施設の利用環境を整え、市民の利用促進につなげる。				
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	市民文化系施設	コミュニティセンター
施設名称	富里北部コミュニティセンター	
担当課	市民活動推進課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	市民のコミュニティの場として活用。潤いとゆとりがあるふるさとづくりを推進し、市民の連帯意識を高め、自主的な活動の場を通して健康で文化的な地域コミュニティを形成する。 関係法令：地方自治法第244条の2第1項				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
		年間利用件数	H29	3,585件		
			H30	4,342件		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	49,089（千円）	H30	7,879（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	1,753（千円）	H30	2,154（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
	稼働率	重要度	サービス評価		①存続	
	2.2	71%～100%	高	5		
	⑥施設の現状と課題	<p>日吉台地域には各自治会の集会所が無いいため、本施設を地域コミュニティの拠点として利用している。また、各種サークル活動の場として、多くの方に利用されている。</p> <p>館内は日吉台出張所や日吉台共有施設管理組合事務所がある。災害時には一時避難所として利用されるので、重要度の高い施設と言える。</p> <p>建設から28年が経過しているため、修繕箇所も徐々に増えてきている。特に照明器具については、電気料を削減して環境にもやさしい、LED照明にする必要があると考えられる。</p>				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	196,504（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	館内電灯のLED化を検討し、電気料の削減を図るとともに、施設の利用環境を整え、市民の利用促進につなげる。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

6) 産業系施設

《総合管理計画における基本方針》

農林業センターは令和6年度までは県からの譲渡の条件に従った施設運営を実施しますが、利用状況や大規模修繕時期等を見据えて、多機能化・利用の促進・施設の有効活用に主眼を置いて、サービスの充実に努めるとともに適正な維持管理を行います。

対象施設

No.	施設名	延べ床面積	建築年度	建物評価点	サービス評価点	フロー結果	方向性
1	富里市農林業センター	742.80	S56	1.1	3	①存続	存続（各種見直し）

個別施設計画 個票

大分類・中分類	産業系施設	産業系施設
施設名称	富里市農林業センター	
担当課	農政課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	農林業者向けコミュニティ施設として活用。 農林業経営に従事する者及びその後継者の育成に寄与するとともに、農家生活の改善及び合理化、農業者等農村在住者の健康促進、地域連帯感の高揚等を図る。 関係法令：富里市農林業センターの設置及び管理に関する条例				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
		利用日数	H29	195日		
			H30	178日		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	2,276（千円）	H30	1,943（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	287（千円）	H30	229（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
	稼働率	重要度	サービス評価		①存続	
	1.1	31%～70%	中	3		
	⑥施設の現状と課題	農林業センターは、平成26年に県から譲渡された施設で農林業振興への寄与を目的とした運営を行っているが、近年建物の老朽化が進行している。このため、施設の運営や老朽化対策など、今後の在り方について、利用状況や大規模修繕時期等を見据えた検討が必要。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	65,266（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	令和6年度までは県からの譲渡の条件に従った施設運営を実施するが、老朽化に伴い、修繕が必要な施設の改修を行い、利用の促進を図りつつ、適正な維持管理を行う。				
	⑨今後の方向性	存続（各種見直し）				

7) 公園内建築物

《総合管理計画における基本方針》

公園は点検結果等を管理する台帳の整備に努めるとともに、公園施設の長寿命化計画を策定し、安全性の確保と適正な維持管理を行います。

また、公園数の増加による維持管理費用の負担状況を踏まえて、安全性に関わる工事を最優先とする等、支出の抑制と平準化に努めます。

対象施設

No.	施設名	延べ床面積	建築年度	建物評価点	サービス評価点	フロー結果	方向性
1	富里中央公園施設（管理棟）	77.00	S61	2.0	5	①存続	存続（現状維持）
2	富里中央公園施設（倉庫）	40.00	S61	2.0	5	①存続	存続（現状維持）
3	富里中央公園施設（トイレ①）	14.00	S61	3.0	5	①存続	存続（現状維持）
4	富里中央公園施設（トイレ②）	25.00	S61	3.0	5	①存続	存続（現状維持）
5	富里中央公園施設（トイレ③）	34.00	S61	3.0	5	①存続	存続（現状維持）
6	富里中央公園施設（その他①）	82.00	S61	2.0	5	①存続	存続（現状維持）
7	富里中央公園施設（その他②）	390.00	S61	2.0	5	①存続	存続（現状維持）
8	新木戸大銀杏公園施設（屋外ステージ）	102.00	H21	3.0	5	①存続	存続（現状維持）
9	新木戸大銀杏公園施設（トイレ）	43.20	H21	3.0	5	①存続	存続（現状維持）
10	日吉台中央公園施設（トイレ）	23.00	H14	0.0	5	③存続・廃止	存続（現状維持）
11	日吉台第2公園施設（トイレ）	1.88	S56	0.0	5	③存続・廃止	存続（現状維持）
12	日吉台第3公園施設（トイレ）	1.88	S56	0.0	5	③存続・廃止	存続（現状維持）
13	日吉台第4公園施設（トイレ）	1.88	S56	0.0	5	③存続・廃止	存続（現状維持）
14	日吉台第5公園施設（トイレ）	1.88	S56	0.0	5	③存続・廃止	存続（現状維持）
15	日吉台第6公園施設（トイレ）	7.20	S56	0.0	5	③存続・廃止	存続（現状維持）

16	日吉台第7公園 施設（トイレ）	6.70	S56	0.0	5	③存続・ 廃止	存続（現 状維持）
17	日吉台第8公園 施設（トイレ）	1.88	S56	0.0	5	③存続・ 廃止	存続（現 状維持）
18	獅子穴公園施設 （トイレ）	0.85	S57	0.0	5	③存続・ 廃止	存続（現 状維持）
19	しらかば公園施 設（トイレ）	1.21	S56	0.0	5	③存続・ 廃止	存続（現 状維持）
20	つつじヶ丘公園 施設（トイレ）	1.21	S56	0.0	5	③存続・ 廃止	存続（現 状維持）
21	富里工業団地公 園施設（トイレ）	6.21	S56	0.0	5	③存続・ 廃止	存続（現 状維持）
22	富里第二工業団 地公園施設（トイ レ）	9.94	H22	0.0	5	③存続・ 廃止	存続（現 状維持）
23	葉山公園施設（ト イレ）	7.76	H28	4.4	5	①存続	存続（現 状維持）

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	富里中央公園施設（管理棟）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)					公園利用者の利便性が向上することを目的とする。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標（⑤の稼働率の指標）		数値						
			—		H29	—					
					H30	—					
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）		H29	0（千円）		H30	0（千円）				
	④使用料等の収入（H29～H30実績）		H29	0（千円）		H30	0（千円）				
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価		サービス評価			⇒	フロー結果		
			稼働率		重要度		サービス評価		①存続		
			2.0		71%～100%		高				5
	⑥施設の現状と課題		施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。								
	⑦今後の概算費用（R18までの合計）		5,949（千円）								
今後の方針	⑧今後の見通し・検討の方向性		今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。								
	⑨今後の方向性		存続（現状維持）								

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	富里中央公園施設（倉庫）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
		稼働率	重要度	サービス評価			
	2.0	71%～100%	高	5		①存続	
	⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	3,518（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。					
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	富里中央公園施設（トイレ①） Aトイレ	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
			H29	—		
			H30	—		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	139（千円）		H30	826（千円）
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
		稼働率	重要度	サービス評価	①存続	
		3.0	31%～70%	高	5	
	⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	3,166（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	富里中央公園施設（トイレ②） Bトイレ	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	130（千円）		H30	115（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
3.0		稼働率	重要度	サービス評価	①存続		
	⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	2,572（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。					
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	富里中央公園施設（トイレ③） Cトイレ	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
				H29	—	
				H30	—	
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	124（千円）	H30	148（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）	H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
		稼働率	重要度	サービス評価		
	3.0	31%～70%	高	5		①存続
	⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	1,778（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	富里中央公園施設（その他①）（野球場メインスタンド）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
				H29	—	
				H30	—	
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	0（千円）	H30	0（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）	H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
2.0		稼働率 71%～100%	重要度 高	サービス評価 5	①存続	
⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	27,886（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	富里中央公園施設（その他②）（倉庫（大））	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)					公園利用者の利便性が向上することを目的とする。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標（⑤の稼働率の指標）		数値						
				H29	—						
				H30	—						
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）		H29	0（千円）		H30	0（千円）				
	④使用料等の収入（H29～H30実績）		H29	0（千円）		H30	0（千円）				
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価		サービス評価			⇒	フロー結果		
2.0			稼働率	71%～100%	重要度	高	サービス評価		5	①存続	
⑥施設の現状と課題		施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。									
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）		6,504（千円）								
	⑧今後の見通し・検討の方向性		今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。								
	⑨今後の方向性		存続（現状維持）								

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	新木戸大銀杏公園施設（屋外ステージ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の教養等の利便性が向上することを目的とする。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
			H29	—		
			H30	—		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	54（千円）	H30	0（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	15（千円）	H30	25（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
		稼働率	重要度	サービス評価		
	3.0	31%～70%	高	5	①存続	
	⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	899（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	新木戸大銀杏公園施設（トイレ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
			H29	—		
			H30	—		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	173（千円）	H30	173（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）	H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
	3.0	稼働率 31%～70%	重要度 高	サービス評価 5	①存続	
	⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	382（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	日吉台中央公園施設（トイレ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
				H29	—	
				H30	—	
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	67（千円）	H30	39（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）	H30	0（千円）	
⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	0.0	稼働率 —	重要度 高	サービス評価 5		③存続・廃止
⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	2,549（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	日吉台第2公園施設（トイレ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
			H29	—		
			H30	—		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	58（千円）		H30	44（千円）
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
	稼働率	重要度	サービス評価		③存続・廃止	
	0.0	—	高	5		
⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	952（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	日吉台第3公園施設（トイレ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など) 公園利用者の利便性が向上することを目的とする。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況 指標（⑤の稼働率の指標）	—	数値	—	
		—	H29	—	
		—	H30	—	
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	39（千円）	H30	69（千円）
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）	H30	0（千円）
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	0.0	サービス評価	5
	稼働率	—	重要度	高	
			サービス評価	5	
	⇒			フロー結果	
				③存続・廃止	
	⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。			
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	952（千円）			
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。			
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）			

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	日吉台第4公園施設（トイレ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
			H29	—		
			H30	—		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	39（千円）		H30	39（千円）
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
0.0		稼働率	重要度	サービス評価	③存続・廃止	
	⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	952（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	日吉台第5公園施設（トイレ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
			H29	—		
			H30	—		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	39（千円）		H30	39（千円）
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
	稼働率	重要度	サービス評価		③存続・廃止	
	0.0	—	高	5		
⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	952（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	日吉台第6公園施設（トイレ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
			H29	—		
			H30	—		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	39（千円）	H30	39（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）	H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
	0.0	稼働率 —	重要度 高	サービス評価 5	③存続・廃止	
	⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	1,316（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	日吉台第7公園施設（トイレ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
			H29	—		
			H30	—		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	454（千円）	H30	55（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）	H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
	0.0	稼働率 —	重要度 高	サービス評価 5	③存続・廃止	
	⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	1,283（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	日吉台第8公園施設（トイレ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	47（千円）		H30	38（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	0.0	稼働率 —	重要度 高	サービス評価 5	③存続・廃止		
	⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	952（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。					
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	獅子穴公園施設（トイレ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	38（千円）		H30	38（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価		③存続・廃止		
		0.0	—	高	5		
	⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	886（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。					
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	しらかば公園施設（トイレ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など) 公園利用者の利便性が向上することを目的とする。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況 指標（⑤の稼働率の指標）	—	数値	—	
		—	H29	—	
		—	H30	—	
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	26（千円）	H30	26（千円）
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）	H30	0（千円）
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	稼働率	重要度	サービス評価
	0.0	—	高	5	
			⇒	フロー結果 ③存続・廃止	
⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	886（千円）			
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。			
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）			

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	つつじヶ丘公園施設（トイレ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。					
施設の現況、 評価、 課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	25（千円）		H30	39（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）	
⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
	稼働率	重要度	サービス評価			③存続・廃止	
		0.0	—	高	5		
	⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	886（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。					
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	富里工業団地公園施設（トイレ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	39（千円）		H30	28（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	0.0	稼働率 —	重要度 高	サービス評価 5	③存続・廃止		
	⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	1,250（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。					
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	富里第二工業団地施設（トイレ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公園利用者の利便性が向上することを目的とする。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
			H29	—		
			H30	—		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	38（千円）	H30	38（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）	H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
	0.0	稼働率 —	重要度 高	サービス評価 5	③存続・廃止	
	⑥施設の現状と課題	施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	88（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	公園内建築物	公園内建築物
施設名称	葉山公園施設（トイレ）	
担当課	都市計画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)					公園利用者の利便性が向上することを目的とする。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標（⑤の稼働率の指標）		数値					
			—		H29	—				
					H30	—				
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）		H29	39（千円）		H30	39（千円）			
	④使用料等の収入（H29～H30実績）		H29	0（千円）		H30	0（千円）			
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果		
			4.4	稼働率	重要度	サービス評価		①存続		
				31%～70%	高	5				
	⑥施設の現状と課題		施設の老朽化が進んでいるが、必要最低限の修繕等を実施し、維持管理を行っている。 今後、更に老朽化が進むため、大規模な改修や更新が必要になる。							
	⑦今後の概算費用（R18までの合計）		36（千円）							
今後の方針		⑧今後の見通し・検討の方向性		今後も公園内施設としての機能を発揮するため施設の維持管理が中心となるが、更に老朽化が進むため、大規模改修や更新を検討していく必要がある。						
		⑨今後の方向性		存続（現状維持）						

8) 行政系施設

《総合管理計画における基本方針》

庁舎等は、多様化する行政サービスへの適切な対応を図ることや災害時の拠点機能を確実に果たすために、適正な維持管理や老朽化対策を行います。

また、本部消防署及び分署は、施設の使用時間が長時間に及ぶ大規模施設であるため、省エネ化や環境負荷の低減に努めるなど、適正な維持管理を行います。

さらに、消防系施設では「消防機庫・車両の更新計画（40年計画）」に従って、施設の維持管理・更新など、老朽化への対策を行います。

対象施設

No.	施設名	延べ床面積	建築年度	建物評価点	サービス評価点	フロー結果	方向性
1	富里市役所庁舎 (本庁舎)	4232.28	S50	0.5	5	③存続・ 廃止	存続（現 状維持）
2	富里市役所庁舎 (分庁舎)	1401.62	H14	2.8	5	①存続	存続（現 状維持）
3	富里市役所庁舎 (仮庁舎)	1069.20	H3	1.2	3	①存続	廃止（除 却）
4	富里市役所庁舎 (すこやかセン ター)	4439.75	H27	4.3	5	①存続	存続（現 状維持）
5	富里市役所庁舎 (倉庫)	141.12	S52	0.0	4	③存続・ 廃止	存続（現 状維持）
6	富里市役所庁舎 (車庫兼倉庫)	179.91	H27	4.3	3	①存続	存続（現 状維持）
7	旧保健センター	997.38	S55	1.1	1	②存続・ 廃止	廃止（転 用）
8	富里市消防庁舎 (庁舎棟)	1638.00	S59	1.5	5	①存続	存続（広 域化）
9	富里市消防庁舎 (車庫棟)	543.46	S59	0.4	5	③存続・ 廃止	存続（広 域化）
10	富里市消防署 (訓練塔主塔)	145.80	S62	1.5	5	①存続	存続（現 状維持）
11	富里市消防署 (訓練塔副塔)	40.00	S62	0.4	5	③存続・ 廃止	存続（現 状維持）
12	富里市消防署北 分署	794.67	H10	2.9	5	①存続	存続（広 域化）
13	第1分団消防機 庫兼詰所	90.72	S50	0.0	5	③存続・ 廃止	存続（現 状維持）
14	第2分団消防機 庫兼詰所	66.24	H6	1.7	5	①存続	存続（現 状維持）

15	第3分団消防機庫兼詰所	63.00	H12	2.5	5	①存続	存続（現状維持）
16	第4分団消防機庫兼詰所	68.80	S54	0.0	5	③存続・廃止	存続（現状維持）
17	第5分団消防機庫兼詰所	187.00	H6	1.7	5	①存続	存続（現状維持）
18	第6分団消防機庫兼詰所	66.24	H8	2.0	5	①存続	存続（現状維持）
19	第7分団消防機庫兼詰所	82.81	H27	4.3	5	①存続	存続（現状維持）
20	第8分団消防機庫兼詰所	49.56	S47	0.0	5	③存続・廃止	存続（現状維持）
21	第9分団消防機庫兼詰所	68.20	S52	0.0	5	③存続・廃止	存続（現状維持）
22	第10分団消防機庫兼詰所	64.80	S55	0.0	5	③存続・廃止	存続（現状維持）
23	第11分団消防機庫兼詰所	66.24	H13	2.6	5	①存続	存続（現状維持）
24	第11分団消防詰所	36.20	S47	0.0	1	④廃止等	廃止（転用）
25	第12分団消防機庫	28.91	S46	0.0	5	③存続・廃止	存続（現状維持）
26	第13分団消防機庫兼詰所	89.42	H11	2.4	5	①存続	存続（現状維持）
27	第14分団消防機庫兼詰所	57.96	S58	0.1	5	③存続・廃止	存続（現状維持）
28	第15分団消防機庫兼詰所	66.24	H13	2.6	5	①存続	存続（現状維持）
29	第16分団消防機庫兼詰所	64.80	S49	0.0	5	③存続・廃止	存続（現状維持）
30	第16分団消防詰所	24.75	S44	0.0	1	④廃止等	廃止（転用）
31	第17分団消防機庫兼詰所	57.96	S51	0.0	5	③存続・廃止	存続（現状維持）
32	第18分団消防機庫兼詰所	69.40	H10	2.2	5	①存続	存続（現状維持）
33	第19分団消防機庫兼詰所	57.96	H21	3.7	5	①存続	存続（現状維持）

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	庁舎等
施設名称	富里市役所庁舎（本庁舎）	
担当課	財政課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	富里市役所（本庁舎）は市内全域の行政サービスの拠点となる施設となる。 関係法令：地方自治法、富里市役所の位置を定める条例				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
		開庁日を指標とする。「富里市の休日定める条例」に規定された日以外は常に開庁している。	H29	開庁日：244日		
	H30		開庁日：244日			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	40,732（千円）		H30	42,229（千円）
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	1,162（千円）		H30	1,277（千円）
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
0.5		稼働率	重要度	サービス評価	③存続・廃止	
	⑥施設の現状と課題	昭和50年に現在の位置に本庁舎が建築されてから45年が経過し、老朽化が目立ってきている。過去に屋上の防水の改修工事や、空調設備改修工事、耐震化工事などの比較的大きな工事を行ってきた経緯がある。その他は軽微な不具合や故障があった箇所に関して毎年修繕を行っている。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R19までの合計）	425,257（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	現状、築年数が経過しているものの、予算等の観点からも建て替えは現実的ではなく、修繕を行い機能を維持していくこととする。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	庁舎等
施設名称	富里市役所庁舎（分庁舎）	
担当課	財政課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	富里市役所（分庁舎）は市内全域の行政サービスの拠点となる施設となる。 関係法令：地方自治法、富里市役所の位置を定める条例				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
		開庁日を指標とする。「富里市の休日定める条例」に規定された日以外は常に開庁している。	H29	開庁日：244日		
	H30		開庁日：244日			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	※富里市役所（本庁舎）の個票に含む		H30	※富里市役所（本庁舎）の個票に含む
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
稼働率		重要度	サービス評価			
	2.8	71%～100%	高	5		①存続
	⑥施設の現状と課題	施設としては都市建設部、経済環境部などの多くの課が利用しており、利用度は高い。 平成15年に建てて以来、大きな改修工事等を行っていない。現状、空調設備は一部稼働していないことや、エレベーターが老朽化しているため、修繕や交換を検討する必要がある。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R19までの合計）	121,489（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今まで修繕等をほとんど行ってきていないこともあり、今後増加していくと思われる。空調やエレベーターは直近で対策が必要であると思われ、それらに関しては修繕で対応か、入れ替えとするのか、費用対効果を意識して決定していく。施設としては暫く建替え等を行わず、適切な修繕を行い使用していく。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	庁舎等
施設名称	富里市役所庁舎（仮庁舎）	
担当課	財政課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	元々は庁舎の一部として利用していたが、課が別の場所に移動して以降は、主に倉庫として利用している。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	※富里市役所（本庁舎）の個票に含む		H30	※富里市役所（本庁舎）の個票に含む	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価				
	1.2	71%～100%	低	3		①存続	
	⑥施設の現状と課題	平成3年に建てられて以降、暫くは市役所の複数の課が入っていたが、別の場所に移動してからは、主に各課の倉庫や、一時的な作業場所として利用されている。 平成26年度に倉庫としての機能を持たせるための改修工事を実施し、床の補修と、木製棚の設置を行った。 通電はしており、空調設備は利用できるが、水道、下水道は利用できない状況。今後の利活用について検討が必要である。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R19までの合計）	75,889（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	平成26年度の工事以降、主に倉庫として利用されている。今後、除却も含めた利活用について検討する必要がある。ただし、現状倉庫として利用しているため、除却の場合は、その後の保管場所についても併せて検討する必要がある。 ⑦は継続して利用していく費用として積算。除却する場合は別途費用等を検討していく。					
	⑨今後の方向性	廃止（除却）					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	庁舎等
施設名称	富里市役所庁舎（すこやかセンター）	
担当課	財政課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	富里市役所（本庁舎）は市内全域の行政サービスの拠点となる施設となる。 地方自治法、富里市役所の位置を定める条例					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
		開庁日を指標とする。「富里市の休日定める条例」に規定された日以外は常に開庁している。	H29	開庁日：244日			
			H30	開庁日：244日			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	※富里市役所（本庁舎）の個票に含む		H30	※富里市役所（本庁舎）の個票に含む	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価		①存続		
		4.3	71%～100%	高	5		
今後の方針	⑥施設の現状と課題	平成27年度に新設されてからまだ5年弱しか経過しておらず、軽微な改修以外問題は発生していない。					
	⑦今後の概算費用（R19までの合計）	78,324（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	築年数もあまり経過していないため、適切な修繕を施しながら今後も継続して活用していく。					
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	庁舎等
施設名称	富里市役所庁舎（倉庫）	
担当課	財政課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				建設資材や、防災用品などが収納されている。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標（⑤の稼働率の指標）		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）		H29	※富里市役所（本庁舎）の個票に含む		H30	※富里市役所（本庁舎）の個票に含む		
	④使用料等の収入（H29～H30実績）		H29	0（千円）		H30	0（千円）		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価		サービス評価			⇒	フロー結果
				稼働率	重要度	サービス評価	③存続・廃止		
			0.0	71%～100%	中	4			
	⑥施設の現状と課題		現状は、防災用品や建設資材が収納されており、通常業務時にも活用しており、災害時にも必要な品が保管されている。建物としては古いですが、特段問題は生じていない。						
	今後の方針	⑦今後の概算費用（R19までの合計）		5,715（千円）					
⑧今後の見通し・検討の方向性		適切な修繕を施しながら今後も継続して利用していく。							
⑨今後の方向性（担当課判断）		存続（現状維持）							

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	庁舎等
施設名称	富里市役所庁舎（車庫兼倉庫）	
担当課	財政課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	公用車及び重機の一部を収納している車庫 一部建設資材等の倉庫としても利用している。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
			H29	—		
			H30	—		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	※富里市役所（本庁舎）の個票に含む		H30	※富里市役所（本庁舎）の個票に含む
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	0（千円）		H30	0（千円）
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
		稼働率	重要度	サービス評価		
	4.3	71%～100%	低	3		①存続
	⑥施設の現状と課題	すこやかセンターの造成に伴い、平成28年度に造成された。公用車4台及び重機の一部が収納されている。また、一部は倉庫としても利用されている。造成後5年しか経過しておらず、現状使用に当たっては問題は見られない。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R19までの合計）	1,078（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	適切な修繕を施しながら今後も継続して利用していく。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	庁舎等
施設名称	旧保健センター	
担当課	財政課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				元々は保健センターとして利用していたが、平成27年度にすこやかセンターが出来てからは、恒常的には利用せず、一時的なイベント等で利用している。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	※富里市役所 (本庁舎) の個票に含む		H30	※富里市役所 (本庁舎) の個票に含む		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
				稼働率	重要度	サービス評価			
			1.1	0%～30%	低	1	②存続・廃止		
	⑥施設の現状と課題		平成27年度まで、庁舎の一部として利用されていたが、平成27年度末にすこやかセンター竣工以降は恒常的には利用されなくなった。現在はイベントがある際に一時的に利用をしている状況である。明確な使用目的が無いため、大規模な改修は行わず、修繕をしながら利用している。						
	⑦今後の概算費用 (R19までの合計)		95,633 (千円)						
今後の方針		⑧今後の見通し・検討の方向性 現在は明確な利用目的が無いため、庁内で活用について協議し、今後は賃貸・民間譲渡といった利活用を検討していく。用途が決まるまでの間は、大規模な修繕等は行わず、簡易的な修繕に留め管理していく。 ⑦は、継続して維持管理を行う場合の費用として積算。							
		⑨今後の方向性		廃止 (転用)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	富里市消防庁舎（庁舎棟）	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	本市における消防事務を処理するため設置している。 関係法令：消防組織法、富里市消防本部及び消防署の設置等に関する条例					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	13,718（千円）		H30	11,795（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	35（千円）		H30	26（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	1.5	稼働率 —	重要度 高	サービス評価 5	①存続		
⑥施設の現状と課題	<p>昭和60年に建設されてから約35年が経過し、各設備の老朽化が進んでいるため、経年劣化等により破損した設備等の修繕を適宜実施している。この他にも改修または修繕をするべき箇所があり、当該箇所の改修等については安全性、緊急性等を考慮して計画的に改修等を実施していかなければならない。</p>						
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	131,927（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	<p>本市の消防行政を運営する上で本施設は必要不可欠であるため、引き続き維持管理に努めていく。特に、本施設敷地内受電設備の劣化が進んでおり、安定的に電力の供給を受けるためにも、当該施設の改修等を優先的に行っていく必要がある。</p> <p>なお、本市消防本部は、平成31年3月に千葉県が策定した「千葉県消防広域化推進計画」における広域化対象市町村の要件に該当していることから、広域化に向けた協議内容を踏まえた上で本施設の大規模な改修等については慎重に検討していく。</p>					
	⑨今後の方向性	存続（広域化）					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	富里市消防庁舎（車庫棟）	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)					各種災害等へ出動するための消防車両等を格納するほか、消防活動で使用するホースなどの資機材や燃料等を保管する。また、棟内に救急消毒室を設置し、救急活動後の資機材等の消毒や除染を行う。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標（⑤の稼働率の指標）		数値					
				H29	—					
				H30	—					
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）		H29	1,201（千円）			H30	515（千円）		
	④使用料等の収入（H29～H30実績）		H29	0（千円）			H30	0（千円）		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果		
			稼働率	重要度	サービス評価			③存続・廃止		
		0.4	—	高	5					
⑥施設の現状と課題		空調・照明設備等改修工事により、棟内の照明をLED化し、環境負荷等の低減を図った。修繕等をすべき箇所は特段なく、適正に運営管理できている。								
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）		44,023（千円）							
	⑧今後の見通し・検討の方向性		各種災害への出動に備えるために必要不可欠な施設であるため、引き続き施設の維持管理に努めていく。 なお、本市消防本部は、平成31年3月に千葉県が策定した「千葉県消防広域化推進計画」における広域化対象市町村の要件に該当していることから、広域化に向けた協議内容を踏まえた上で本施設の改修等については慎重に検討していく。							
	⑨今後の方向性		存続（広域化）							

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	富里市消防署（訓練塔主塔）	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				消防職員の技術向上のため様々な活動現場を想定し、当該施設を活用して各種訓練に取り組むほか、訓練資機材の保管をしている。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標（⑤の稼働率の指標）		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）		H29	0（千円）		H30	0（千円）		
	④使用料等の収入（H29～H30実績）		H29	0（千円）		H30	0（千円）		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
			稼働率	重要度	サービス評価				
		1.5	—	高	5	①存続			
⑥施設の現状と課題		各種訓練実施のため当該施設を活用しており、修繕すべき箇所は特段なく、適正に運営管理ができています。 なお、訓練塔副塔が現在老朽化により使用不可となっていることで、渡過訓練など一部の訓練が実施できていない。							
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）		8,222（千円）						
	⑧今後の見通し・検討の方向性		職員の技術向上のために必要不可欠な施設であるため、引き続き施設の維持管理に努めていく。なお、老朽化している訓練塔副塔は、改修に向けて準備を進めていく。						
	⑨今後の方向性		存続（現状維持）						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	富里市消防署（訓練塔副塔）	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				消防職員の技術向上のため様々な活動現場を想定し、当該施設を活用して各種訓練に取り組む。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標（⑤の稼働率の指標）		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）		H29	0（千円）		H30	0（千円）		
	④使用料等の収入（H29～H30実績）		H29	0（千円）		H30	0（千円）		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
		稼働率	重要度	サービス評価	③存続・廃止				
		0.4	—	高	5				
⑥施設の現状と課題		昭和62年に新設されてから約30年の経過とともに腐食が進み、欠損等も広範囲にみられ危険な状態であることから全く使用できない状況であり、活動訓練に支障を来している。							
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）		2,180（千円）						
	⑧今後の見通し・検討の方向性		職員の技術向上のために必要不可欠な施設であるため、老朽化が進行している既存施設を改築する。						
	⑨今後の方向性		存続（現状維持）						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	富里市消防署北分署	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など) 本市の消防事務を処理し、かつ、北部地域の防災・災害拠点として設置している。 関係法令：消防組織法、富里市消防署に関する規程					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値		
	—		H29	—		
			H30	—		
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	6,595 (千円)	H30	2,802 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)	H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
	稼働率	重要度	サービス評価		①存続	
	2.9	—	高	5		
⑥施設の現状と課題	庁舎が建築されてから約20年が経過し、経年劣化等により設備等に不具合が発生している。市北部地域の防災・災害拠点としての機能を維持するため、適宜修繕を行う必要がある。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	46,952 (千円)				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	本市の消防行政を運営する上で本施設は必要不可欠であるため、引き続き維持管理に努めていく。 なお、本市消防本部は、平成31年3月に千葉県が策定した「千葉県消防広域化推進計画」における広域化対象市町村の要件に該当していることから、広域化に向けた協議内容を踏まえた上で本施設の改修等については慎重に検討していく。				
	⑨今後の方向性	存続 (広域化)				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第1分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				日吉倉・日吉倉新田地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
		稼働率	重要度	サービス評価	③存続・廃止				
		0.0	—	高	5				
⑥施設の現状と課題		敷地は民有地であり移転し建替えをする必要がある。現在の施設は昭和50年に設置されたもので老朽化に対して部分的補修によって対応しており、大規模修繕工事や長寿命化工事等の大規模な老朽対策は実施していない。							
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		6,115 (千円)						
	⑧今後の見通し・検討の方向性		移転先の市有地が確保でき次第、建替えを検討。						
	⑨今後の方向性		存続 (現状維持)						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第2分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				久能地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	99 (千円)		H30	0 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
		稼働率	重要度	サービス評価	①存続				
		1.7	—	高	5				
⑥施設の現状と課題		久能の集会場敷地内に平成7年に建て替えられた施設であり問題なく、現在のところ課題はない。							
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		7,177 (千円)						
	⑧今後の見通し・検討の方向性		久能地区の防災活動に迅速に応じるため、引き続き、現在の位置で適切な維持管理を行う。						
	⑨今後の方向性		存続 (現状維持)						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第3分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	大和地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	30 (千円)		H30	0 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価				
	2.5	—	高	5		①存続	
	⑥施設の現状と課題	消防機庫兼詰所は、平成13年に建て替えられた施設であり問題なく、現在のところ課題はない。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	1,825 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	適切な維持管理により施設の機能を保全する。					
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第4分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	根木名地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	39 (千円)		H30	0 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	0.0	稼働率 —	重要度 高	サービス評価 5	③存続・廃止		
	⑥施設の現状と課題	敷地は私有地であり移転し建替えをする必要がある。現在の施設は昭和55年に設置されたもので老朽化に対して部分的補修によって対応しており、大規模修繕工事や長寿命化工事等の大規模な老朽対策は実施していない。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	1,424 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	現在の敷地は私有地のため、移転建替えを検討する際には市有地の活用を基本とする。					
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第5分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				七栄地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	18 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
		稼働率	重要度	サービス評価		①存続			
		1.7	—	高	5				
⑥施設の現状と課題		現在の施設は平成7年に設置されたもので部分的補修によって対応しており、大規模修繕工事や長寿命化工事等の大規模な老朽対策は実施していない。							
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		18,337 (千円)						
	⑧今後の見通し・検討の方向性		適切な維持管理により現状把握に努めながら、部分的補修により、施設の機能を保全していく。						
	⑨今後の方向性		存続 (現状維持)						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第6分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				新橋地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
			稼働率	重要度	サービス評価				
		2.0	—	高	5	①存続			
⑥施設の現状と課題		平成9年に建て替えられた施設であり問題なく、現在のところ課題はない。							
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		6,993 (千円)						
	⑧今後の見通し・検討の方向性		適切な維持管理により施設の機能を保全する。						
	⑨今後の方向性		存続 (現状維持)						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第7分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				中沢地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	3 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
			稼働率	重要度	サービス評価				
		4.3	—	高	5	①存続			
⑥施設の現状と課題		中沢地区を管轄する第7分団の消防機庫兼詰所は、平成27年に設置し、車庫及び詰所スペースも十分に確保されており、車両の出入りもしやすく、良好な立地状況で運用面等の大きな課題はない。							
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		1,121 (千円)						
	⑧今後の見通し・検討の方向性		適切な維持管理により施設の機能を保全する。						
	⑨今後の方向性		存続 (現状維持)						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第8分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	立沢・太木地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	18 (千円)		H30	0 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価		③存続・廃止		
	0.0	—	高	5			
⑥施設の現状と課題	立沢・太木地区を管轄する第8分団消防機庫兼詰所は、昭和47年に設置されたもので、施設の老朽化は深刻な状況となっている。						
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	2,051 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	適切な維持管理により施設の機能を保全しながら、老朽化の進行状況を鑑み規模に応じた建替えを検討していく。					
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第9分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	四区・二重堀・高松・高松入地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。			
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値	
				H29	—
				H30	—
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	17 (千円)	H30	0 (千円)
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)	H30	0 (千円)
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価		
		稼働率	重要度	サービス評価	
	0.0	—	高	5	③存続・廃止
	⑥施設の現状と課題	四区・二重堀・高松・高松入地区を管轄する第9分団消防機庫兼詰所は、昭和52年に設置され、施設の老朽化は深刻な状況となっている。			
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	1,415 (千円)			
	⑧今後の見通し・検討の方向性	適切な維持管理により施設の機能を保全しながら、老朽化の進行状況を鑑み規模に応じた建替えを検討していく。			
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)			

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第10分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				高野地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
		稼働率	重要度	サービス評価	③存続・廃止				
		0.0	—	高	5				
⑥施設の現状と課題		施設は昭和55年に設置している。令和元年度の台風により外壁及び内部が破損し大規模修繕を実施したため、現状施設に問題はない。							
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		7,499 (千円)						
	⑧今後の見通し・検討の方向性		適切な維持管理により施設の機能を保全する。						
	⑨今後の方向性		存続 (現状維持)						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第11分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	両国・旭地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
		稼働率	重要度	サービス評価			
	2.6	—	高	5		①存続	
	⑥施設の現状と課題	両国・旭地区を管轄する第11分団の消防機庫兼詰所は、平成14年に設置し、良好な立地状況で車庫及び詰所スペースも十分に確保されており、車両の出入りもしやすく、運用面等の大きな課題はない。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	1,906 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	適切な維持管理により施設の機能を保全する。					
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第11分団消防詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				地区の防災拠点倉庫であり消防団が使用する物品を保管するための施設。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
			稼働率	重要度	サービス評価	④廃止等			
		0.0	—	低	1				
⑥施設の現状と課題		南小学校に面している倉庫であり、地区の物置として活用している。現在は、消防防災施設としては使用していない。							
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		1,560 (千円)						
	⑧今後の見通し・検討の方向性		現在の所有管理している自治会と十分に協議しながら今後の整備・運用について検討を進めていく。						
	⑨今後の方向性		廃止 (転用)						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第12分団消防機庫	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	大堀地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	59 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価		③存続・廃止		
		0.0	—	高	5		
	⑥施設の現状と課題	昭和46年に設置しており、施設の老朽化が課題となっている。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	1,364 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	適切な維持管理により施設の機能を保全しながら、老朽化の進行状況を鑑み規模に応じた建替えを検討していく。					
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第13分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				実ノロ・金堀地区・吉川の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	426 (千円)		H30	0 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
		稼働率	重要度	サービス評価		①存続			
		2.4	—	高	5				
⑥施設の現状と課題		実ノロ・金堀地区・吉川地区を管轄する第13分団の消防機庫兼詰所は、平成12年に設置された。令和元年度に台風被害により屋根部分を破損したが修繕している。現在のところ、施設面に問題はない。							
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		1,796 (千円)						
	⑧今後の見通し・検討の方向性		適切な維持管理により施設の機能を保全する。						
	⑨今後の方向性		存続 (現状維持)						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第14分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	二区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	16 (千円)		H30	0 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価		③存続・廃止		
		0.1	—	高	5		
	⑥施設の現状と課題	二区を管轄する第14分団消防機庫兼詰所は、昭和58年に設置され令和元年度に屋根の修繕を実施。建物全体は老朽化が進んでいる。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	6,835 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	適切な維持管理により施設の機能を保全しながら、老朽化の進行状況を鑑み規模に応じた建替えを検討していく。					
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第15分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				三区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
			稼働率	重要度	サービス評価				
		2.6	—	高	5	①存続			
⑥施設の現状と課題		三区を管轄する第15分団の消防機庫兼詰所は、平成14年に設置し、車庫及び詰所スペースも十分に確保されており、車両の出入りもしやすく、良好な立地状況で運用面等の大きな課題はない。							
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		1,906 (千円)						
	⑧今後の見通し・検討の方向性		適切な維持管理により施設の機能を保全する。						
	⑨今後の方向性		存続 (現状維持)						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第16分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	武州・旧平地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	6 (千円)		H30	3 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価		③存続・廃止		
		0.0	—	高	5		
	⑥施設の現状と課題	武州・旧平地区を管轄する第16分団消防機庫兼詰所は、昭和50年に設置されており建物全体の老朽化が進んでいる。施設の老朽化が課題となっている。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	2,425 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	適切な維持管理により施設の機能を保全しながら、老朽化の進行状況を鑑み規模に応じた建替えを検討していく。					
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第16分団消防詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	武州・旧平地区の防災拠点施設であり、消防団員が使用している。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価	④廃止等			
		0.0	—	低	1		
	⑥施設の現状と課題	武州・旧平地区を管轄する第16分団詰所は建物全体の老朽化が進んでおり、建物の所有管理の調査・協議が必要である。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	470 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	現在の所有管理している自治会と十分に協議しながら今後の整備・運用について検討を進める。					
	⑨今後の方向性	廃止 (転用)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第17分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				宮内地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	179 (千円)		H30	50 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
		稼働率	重要度	サービス評価	③存続・廃止				
		0.0	—	高	5				
⑥施設の現状と課題		宮内地区を管轄する第17分団消防機庫兼詰所は、昭和51年に設置し、施設の老朽化は深刻な状況となっている。							
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		2,255 (千円)						
	⑧今後の見通し・検討の方向性		適切な維持管理により施設の機能を保全しながら老朽化の進行状況を鑑み規模に応じた建替えを検討していく。						
	⑨今後の方向性		存続 (現状維持)						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第18分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				葉山地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	120 (千円)		H30	99 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
			稼働率	重要度	サービス評価				
		2.2	—	高	5	①存続			
⑥施設の現状と課題		葉山地区を管轄する第18分団の消防機庫兼詰所は、平成11年に設置し、車庫及び詰所スペースも十分に確保されており、良好な立地状況で運用面等の大きな課題はない。							
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		1,426 (千円)						
	⑧今後の見通し・検討の方向性		適切な維持管理により施設の機能を保全する。						
	⑨今後の方向性		存続 (現状維持)						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	行政系施設	消防系施設
施設名称	第19分団消防機庫兼詰所	
担当課	消防総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	大和台地区の防災拠点施設。消防団が使用する消防車両の車庫であり、参集した消防団員が結束して迅速に消防活動を行うための施設。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	稼働率	重要度	サービス評価		①存続		
		3.7	—	高	5		
	⑥施設の現状と課題	大和台地区を管轄する第19分団の消防機庫兼詰所は、平成22年に設置し、車庫及び詰所スペースも十分に確保されており、車両の出入りもしやすく、良好な立地状況で運用面等の大きな課題はない。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	854 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	適切な維持管理により施設の機能を保全する。					
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)					

9) スポーツ系施設

《総合管理計画における基本方針》

スポーツ系施設は、利用ニーズへの柔軟な対応を図るために、学校の一般開放や他の既存施設の利用を推進し、利用の集中の緩和を図るとともに、利用者との連携による維持管理費用の低減を図ります。

また、社会体育館については、安全確保を最優先の課題とし、耐震化及び老朽化対策の工事に関して、今後の改修計画を策定し適切な取り組みを推進します。

その上で指定管理者制度の導入を検討し、施設の有効活用と財政負担の軽減を図ります。

対象施設

No.	施設名	延べ床面積	建築年度	建物評価点	サービス評価点	フロー結果	方向性
1	富里社会体育館	4374.73	S58	1.4	3	①存続	存続（現状維持）
2	高野運動広場	15.48	S56	2.3	2	②存続・廃止	存続（現状維持）
3	富里市営運動場	37.40	S56	0.0	3	③存続・廃止	存続（現状維持）

個別施設計画 個票

大分類・中分類	スポーツ系施設	体育館
施設名称	富里社会体育館	
担当課	生涯学習課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	市内唯一の社会体育施設として、市民の心身の健全な発達とスポーツ振興を図り、もって明るく豊かな市民生活の向上に寄与するために設置。 関係法令：富里市社会体育館の設置及び管理に関する条例				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
		開館日数×3単位（午前・午後・夜間）に対する使用区分4（各部屋等の数）毎の使用回数で稼働率を算出	H29	開館日数 : 304日 使用回数の合計 : 2,087回 稼働率の平均 : 59.42%		
			H30	開館日数 : 302日 使用回数の合計 : 2,138回 稼働率の平均 : 61.56%		
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	13,494（千円）	H30	12,900（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	4,532（千円）	H30	4,822（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
	稼働率	重要度	サービス評価			
	1.4	31%～70%	中	3		①存続
	⑥施設の現状と課題	富里市内の屋内社会体育施設は1施設。富里社会体育館は昭和59年10月竣工。開館から36年が経過し、施設、設備の劣化が進行、法改正による既存不適格事項の指摘など大規模な改修や更新が必要。毎年小規模な修繕を実施しているが、延命化までには至っていない。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	334,391（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	今後も地域の屋内社会体育施設としての機能を発揮するため施設や設備の維持管理が中心となる。その中で大規模改修や更新を検討していく必要がある。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	スポーツ系施設	運動場
施設名称	高野運動広場	
担当課	生涯学習課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	市民の健康増進に資することを目的として設置。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
		開館日数×3単位(午前・午後)に対する使用区分2(面の数)毎の使用回数で稼働率を算出	H29	貸出日数 : 360日 使用回数の合計 : 648回 稼働率の平均 : 30.01%			
	H30		貸出日数 : 360日 使用回数の合計 : 560回 稼働率の平均 : 25.89%				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	291 (千円)	H30	420 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)	H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	2.3	稼働率	重要度	サービス評価	②存続・廃止		
	⑥施設の現状と課題	ソフトボール場を2面設置。バックネット、両翼のポール、ダッグアウト、審判席、音響設備、トイレを設置。設置当初から管理条例、規則は無く、使用料の徴収もない状態。設備にも劣化が目立ち、特にトイレについては汲み取り式から水洗化への改修を必要とする。審判席とダッグアウトは平成12年12月に設置。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	11,348 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	屋外スポーツ施設として、機能を発揮できるよう施設や設備の維持管理が中心となる。その中で大規模改修や更新を検討していく必要がある。					
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	スポーツ系施設	運動場
施設名称	富里市営運動場	
担当課	生涯学習課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	市民の健康増進に資することを目的として設置。 関係法令：富里市営運動場の設置等に関する条例				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
		開館日数×3単位（午前・午後）に対する使用区分3（面の数）毎の使用回数で稼働率を算出	H29	貸出日数 : 357日 使用回数の合計 : 1,178回 稼働率の平均 : 32.20%		
	H30		貸出日数 : 354日 使用回数の合計 : 1,009回 稼働率の平均 : 31.12%			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	3,180（千円）	H30	2,782（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	499（千円）	H30	419（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
0.0		稼働率	重要度	サービス評価		
	⑥施設の現状と課題	野球場とテニスコート、管理棟のある運動広場として設置。運動場にはナイター設備がなく夜間の利用はできない。また、テニスコートはハードコートが2面であり、競技会等での使用に適していない。テニスコート表面は劣化による亀裂が多数発生し毎年小規模な修繕により延命を凶っている。管理棟も屋根材の塗料の劣化による錆の発生が著しく、施設や設備に大規模な修繕を必要としている。				
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	12,972（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	屋外スポーツ施設として、機能を発揮できるよう施設や設備の維持管理が中心となる。その中で大規模改修や更新を検討していく必要がある。				
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）				

10) 供給処理施設

《総合管理計画における基本方針》

供給処理施設は、ごみ収集場所・観測井戸・フェンスなどの施設・設備に関しての台帳整備を推進し、計画的な運用・管理に努めます。

また、家庭雑排水共同処理施設は、休止している施設の取扱いなど、今後の在り方について検討します。

富里市の可燃物処理事務を委託している成田市の成田富里いずみ清掃工場は、施設の状況を成田市と共有し、適正な運用・管理に努めます。

対象施設

No.	施設名	延べ床面積	建築年度	建物評価点	サービス評価点	フロー結果	方向性
1	富里市クリーンセンター(管理事務所)	150.0	S52	0.0	5	③存続・廃止	存続(多機能化)
2	富里市クリーンセンター(その他建物)	300.00	S54	0.0	5	③存続・廃止	存続(多機能化)
3	富里第1家庭雑排水共同処理施設	27.00	S54	0.0	1	④廃止等	廃止(除却)
4	富里第2家庭雑排水共同処理施設	35.29	S59	1.5	3	①存続	存続(現状維持)
5	富里第3家庭雑排水共同処理施設	83.62	S61	1.7	1	②存続・廃止	廃止(除却)
6	富里第4家庭雑排水共同処理施設	34.29	H2	2.1	1	②存続・廃止	廃止(除却)
7	富里第5家庭雑排水共同処理施設	43.83	H1	2.0	1	②存続・廃止	廃止(除却)

個別施設計画 個票

大分類・中分類	供給処理施設	ごみ処理施設
施設名称	富里市クリーンセンター（管理事務所）	
担当課	環境課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	富里市内の一般廃棄物を処理するクリーンセンターの管理を行う 関係法令：廃棄物の処理及び清掃に関する法令 富里市廃棄物の処理及び清掃に関する条例				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値		
		年間稼働日数率 年間稼働日数/365日	H29	年間稼働日数 307日		
	H30		年間稼働日数 306日			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	856（千円）	H30	1,457（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	3,463（千円）	H30	3,889（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
0.0		稼働率 71%～100%	重要度 高	サービス評価 5	③存続・廃止	
⑥施設の現状と課題	建設後40年以上経過しているため、老朽化が著しく雨漏りも発生している。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	1,698（千円）				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	市民ニーズが高い施設であることから、建替えも視野に入れながら既存の施設の適切な維持管理を行い延命を図るとともに、システムや設備などについても機能強化を図っていく。				
	⑨今後の方向性	存続（多機能化）				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	供給処理施設	ごみ処理施設
施設名称	富里市クリーンセンター（その他建物）	
担当課	環境課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	富里市内の一般廃棄物のうち不燃物の処理を行う 関係法令：廃棄物の処理及び清掃に関する法令 富里市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
		年間稼働日数率 年間稼働日数/365日	H29	年間稼働日数 307日			
	H30		年間稼働日数 306日				
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	6,863（千円）		H30	6,330（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	※別個票 富里市クリーンセンター（管理事務所）に含む		H30	※別個票 富里市クリーンセンター（管理事務所）に含む	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
0.0		稼働率	重要度	サービス評価	③存続・廃止		
	⑥施設の現状と課題	建設後40年以上経過しているため、施設及び設備の老朽化が著しいうえ、設備構造上、現在の分別、選別及び搬入規模に対応できていない。 また、施設外壁ALCの劣化が激しく、外壁の風化や破損により躯体鉄骨部の露出が発生している。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	3,116（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	市民の需要の高さ、多様化に対応していく必要があることから、既存施設については、建替えも視野に入れながら適切な維持管理を行い延命を図るとともに、新たな処理品目の増加や搬入量に対応できる設備機能の強化を図っていく。					
	⑨今後の方向性	存続（多機能化）					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	供給処理施設	その他
施設名称	富里第1家庭雑排水共同処理施設	
担当課	環境課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				家庭雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、道路側溝等により集水した家庭雑排水を浄化処理し、放流する。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	169 (千円)		H30	88 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
			稼働率	重要度	サービス評価				
		0.0	—	低	1	④廃止等			
⑥施設の現状と課題		道路側溝等から集水した生活雑排水の水質が、浄化後の計画放流水質を下回っているため、休止中。							
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		—				(千円)		
	⑧今後の見通し・検討の方向性		除却方法及びその費用を検討する。						
	⑨今後の方向性		廃止 (除却)						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	供給処理施設	その他
施設名称	富里第2家庭雑排水共同処理施設	
担当課	環境課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	家庭雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、道路側溝等より集水した家庭雑排水を浄化処理し、放流する。					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値			
		稼働日数	H29	365日			
			H30	365日			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	3,932 (千円)		H30	3,100 (千円)	
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	1.5	稼働率 71%～100%	重要度 低	サービス評価 3	①存続		
	⑥施設の現状と課題	流域から集水した生活雑排水の水質が、浄化後の計画放流水質を上回っており、施設を稼働させ浄化処理する必要がある。					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	0 (千円)					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	流域から集水した生活雑排水の水質が、浄化後の計画放流水質を上回っている場合は、まだ浄化処理をする必要があるため、施設を存続する。 しかし、流域内での公共下水道への接続の増加、及び小型合併処理浄化槽設置数の増加により、道路側溝等により集水する排水水質は徐々に改善されていき、将来的には本施設は廃止する。					
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	供給処理施設	その他
施設名称	富里第3家庭雑排水共同処理施設	
担当課	環境課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				家庭雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、道路側溝等より集水した家庭雑排水を浄化処理し、放流する。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	297 (千円)		H30	16 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
			稼働率	重要度	サービス評価	②存続・廃止			
		1.7	—	低	1				
⑥施設の現状と課題		道路側溝等から集水した生活雑排水の水質が、浄化後の計画放流水質を下回っているため、休止中。							
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		—				(千円)		
	⑧今後の見通し・検討の方向性		除却方法及びその費用を検討する。						
	⑨今後の方向性		廃止 (除却)						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	供給処理施設	その他
施設名称	富里第4家庭雑排水共同処理施設	
担当課	環境課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				家庭雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、道路側溝等より集水した家庭雑排水を浄化処理し、放流する。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	336 (千円)		H30	243 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
		稼働率	重要度	サービス評価	②存続・廃止				
		2.1	—	低	1				
⑥施設の現状と課題		道路側溝等から集水した生活雑排水の水質が、浄化後の計画放流水質を下回っているため、休止中。							
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		—				(千円)		
	⑧今後の見通し・検討の方向性		除却方法及び費用を検討する。						
	⑨今後の方向性		廃止 (除却)						

個別施設計画 個票

大分類・中分類	供給処理施設	その他
施設名称	富里第5家庭雑排水共同処理施設	
担当課	環境課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)				家庭雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、道路側溝等より集水した家庭雑排水を浄化処理し、放流する。				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況		指標 (⑤の稼働率の指標)		数値				
				H29	—				
				H30	—				
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)		H29	180 (千円)		H30	97 (千円)		
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)		H29	0 (千円)		H30	0 (千円)		
	⑤方向性判断フロー結果		建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
		稼働率	重要度	サービス評価	②存続・廃止				
		2.0	—	低	1				
⑥施設の現状と課題		道路側溝等から集水した生活雑排水の水質が、浄化後の計画放流水質を下回っているため、休止中。							
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)		—				(千円)		
	⑧今後の見通し・検討の方向性		除却方法及び費用を検討する。						
	⑨今後の方向性		廃止 (除却)						

11) その他建築系公共施設

《総合管理計画における基本方針》

富里バスターミナル駐車場は、本来の目的である高速バス及び公園利用者が適正に利用できるよう、駐車場の有料化を実施するとともに、より持続可能で効果的な運営・管理の手法等について検討します。

また、用途廃止を行った施設や低未利用の施設は今後の利活用の方向性を定めるとともに、必要性の低い施設は取壊しを推進します。

富里市の斎場事務を委託している成田市の八富成田斎場は、施設の状況を成田市と共有し、適正な運用・管理に努めます。

対象施設

No.	施設名	延べ 床面積	建築 年度	建物 評価点	サービス 評価点	フ ロ ー 結果	方向性
1	富里バスターミナル	72.00	H18	3.2	3	①存続	存続（現状維持）
2	旧富里市教職員住宅	412.16	S49	0.5	1	④廃止等	廃止（除却）
3	旧洗心小学校（校舎）	1481.00	S52	0.0	1	④廃止等	廃止（転用）
4	旧洗心小学校（体育館）	676.00	S52	0.0	2	④廃止等	廃止（転用）

個別施設計画 個票

大分類・中分類	その他建築系公共施設	待合所
施設名称	富里バスターミナル	
担当課	企画課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	富里バスターミナルに乗入する高速バス・市コミュニティバス等の利用のための施設。 関係法令： 富里バスターミナル駐車場の設置及び管理に関する条例 富里バスターミナル駐車場の設置及び管理に関する条例施行規則				
施設の現況、 評価、 課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値		
		富里バスターミナル駐車場稼働率 1日平均駐車台数及び駐車率	H29	—		
	H30		1日平均駐車台数 40台 駐車率 35%			
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	23		H30	—
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	—		H30	916
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
	稼働率	重要度	サービス評価			
	3.2	31%～70%	中	3		①存続
⑥施設の現状と課題	<p>富里バスターミナルは、高速バス及び市コミュニティバス等を利用する方の待合スペースとして供用しており、隣接する駐車場とともに市で管理をしていたが、駐車場については、無料開放していた平成30年5月までは、目的外の駐車が多く、慢性的な混雑が発生していたことから、施設の適正な管理のあり方を検討してきた。</p> <p>このようなことから、駐車場について、平成30年6月より、指定管理者制度の導入により、民間のノウハウを生かした、有料駐車場としたことで、慢性的な混雑は解消され、より適正な駐車場管理ができています。</p> <p>一方で、新たな課題として、新型コロナウイルス感染症の影響により、乗入れしている高速バス等の減便や、高速バス利用者数の減少が駐車場利用者の減少にも波及している。</p> <p>管理費用に掛かる経費は、駐車場利用料金収入を原資としていることから、当該駐車場については、利用促進による駐車場利用料金収入を安定的に確保できるよう努めることが、継続的な駐車場管理に繋がり、バスターミナル全体の適正な管理に資すると考えられる。</p>					
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	0 (千円)				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	<p>鉄道駅のない本市にとっては、交通結節点の機能を担うバスターミナルは、重要な公共施設であり、今後も施設は維持すべきであると考えます。</p> <p>その中で、駐車場については、利用者の利便性の向上、人的・財政的負担の軽減等総合的な視点から、指定管理者制度を継続するとともに、バスターミナル全体の適切な管理運営について、関係各部署及び関係機関と連携し、より適切な施設管理について検討していく。</p>				
	⑨今後の方向性	存続 (現状維持)				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	その他建築系公共施設	その他
施設名称	旧富里市教職員住宅	
担当課	教育総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	旧教職員住宅は、昭和49年度に公立学校共済組合の教職員住宅事業により、教職員を確保するため学校教育に専念できる居住環境を整備する目的で建設された。その後、平成11年8月に当該建物は廃止され、現在は空き家となっている。 関係法令：公立学校共済組合教職員住宅事業実施要領 富里市教職員住宅管理規則				
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標 (⑤の稼働率の指標)		数値		
			H29	—		
			H30	—		
	③管理運営にかかる経費 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)
	④使用料等の収入 (H29～H30実績)	H29	0 (千円)		H30	0 (千円)
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒
	稼働率	重要度	サービス評価			
	0.5	—	低	1		④廃止等
	⑥施設の現状と課題	老朽化によるコンクリートの剥離等が見られるが、平成30年度の解体工事実施設計業務において、有資格者(建築士)による目視確認の結果、建物の傾斜、基礎、屋根・外壁等に著しい損傷はなく、建物が直ちに倒壊する可能性は低いと判断されている。 建築年月日：昭和50年3月25日(築45年) 構造：鉄筋コンクリート(RC)2階建 所有権：富里市(平成7年に繰上償還により取得)				
今後の方針	⑦今後の概算費用 (R18までの合計)	解体工事費 39,663 (千円)				
	⑧今後の見通し・検討の方向性	教育行政目的としての活用計画がなく、市公共施設全体における長期的な視点をもって長寿命化、更新、転用、解体などの利活用を図る必要がある。 担当課判断としては、教育目的として活用する計画がないため廃止(除却)であるが、普通財産として市公共施設全体における利活用を検討する部署に委ねたい。 なお、進入路(認定外市道)に埋設されている水道管については、教育総務課所管の連合管となっているが、水道課に移管するための改修工事が別途必要となる。				
	⑨今後の方向性	廃止(除却)				

個別施設計画 個票

大分類・中分類	その他建築系公共施設	その他
施設名称	旧洗心小学校（校舎）	
担当課	教育総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	富里南小学校との統合により平成29年4月から学校として使用されなくなった校舎であり、その後は、災害時の避難所や地域活動等の場として使用されることがある。 関係法令：富里市地域防災計画					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
		使用可能日数に対する使用日数（%）	H29	2%			
	H30		3%				
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	2,462（千円）		H30	2,580（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	1（千円）		H30	1（千円）	
⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果	
		稼働率	重要度	サービス評価			
	0.0	0%～30%	低	1		④廃止等	
今後の方針	⑥施設の現状と課題	陸屋根の老朽化等により防水機能が確保できず、室内に雨漏りがある。その雨漏りにより、天井の一部が破損しているとともにカビが生えているため、清掃や換気を繰り返してもカビ臭が抜けない。また、通電は、漏電の恐れがあるため昇降口など必要最小限の範囲とし、それ以外の部屋等は止めている。					
	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	25,161（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	旧洗心小学校跡地の利活用に向けた検討員会を設置し、平成30年6月から調査研究や検討を行っているものの、利活用の方策は決定していない。 令和2年度には、民間の3団体から敷地全体にわたる活用の提案があり、その提案に対する課題を整理している。整理した課題等について、提案者が了承のうえ活用を進めたいこととなれば、賃貸借等により提供する。					
	⑨今後の方向性	廃止（転用）					

個別施設計画 個票

大分類・中分類	その他建築系公共施設	その他
施設名称	旧洗心小学校（体育館）	
担当課	教育総務課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	富里南小学校との統合により平成29年4月から学校として使用されなくなった体育館であり、その後は、投票所、災害時の避難所や地域活動等の場として使用されている。 関係法令：公職選挙法、富里市地域防災計画					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
		使用可能日数に対する使用日数（%）	H29	3%			
	H30		3%				
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	2,462（千円）		H30	2,580（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	1（千円）		H30	1（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
	0.0	稼働率	重要度	サービス評価	④廃止等		
	⑥施設の現状と課題	大雨や強風によっては一部に雨漏りが生じるものの、アリーナ及びステージの使用に大きな問題はない。令和2年度には、新型コロナウイルス感染症の影響による学校開放事業の休止にともない、その代替的施設として9月半ばから毎週利用されている。 維持管理のための使用料等を設定したいものの、教育財産の用途廃止から普通財産となり、跡地活用の方策が決まらない中、その根拠となる設置管理条例等を制定できる状況にない。					
今後の方針	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	66,930（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	旧洗心小学校跡地の利活用に向けた検討員会を設置し、平成30年6月から調査研究や検討を行っているものの、利活用の方策は決定していない。 令和2年度には、民間の3団体から敷地全体にわたる活用の提案があり、その提案に対する課題を整理している。整理した課題等について、提案者が了承のうえ活用を進めたいこととなれば、賃貸借等により提供する。					
	⑨今後の方向性	廃止（転用）					

12) その他土木系公共施設

《総合管理計画における基本方針》

その他土木系公共施設については将来的に譲渡・移管されるものも考慮に含め、一元的に検討するための固定資産台帳の活用や修繕計画等の策定を推進します。

対象施設

No.	施設名	延べ床面積	建築年度	建物評価点	サービス評価点	フロー結果	方向性
1	ふるさと自然公園施設（トイレ）	17.28	H8	2.7	3.0	①存続	存続（現状維持）

個別施設計画 個票

大分類・中分類	その他土木系公共施設	その他土木系公共施設
施設名称	ふるさと自然公園施設（トイレ）	
担当課	建設課	

	①施設の役割 (施設の目的・関係法令など)	雨水流出の調整及び抑制を行う調整池に併設されている運動公園施設 関係法令：富里市ふるさと自然公園の設置及び管理に関する条例					
施設の現況、評価、課題等	②施設の利用状況	指標（⑤の稼働率の指標）		数値			
			H29	—			
			H30	—			
	③管理運営にかかる経費（H29～H30実績）	H29	1,560（千円）		H30	1,581（千円）	
	④使用料等の収入（H29～H30実績）	H29	295（千円）		H30	266（千円）	
	⑤方向性判断フロー結果	建物評価	サービス評価			⇒	フロー結果
		稼働率	重要度	サービス評価			
	2.7	31%～70%	中	3	①存続		
今後の方針	⑥施設の現状と課題	建物自体は耐用年数を経過していないが、竣工から20年以上経過しており、付帯施設の老朽化が進んでいる。特に公園内の照明については点灯しないものが多数あり、根本的な改修が必要である。					
	⑦今後の概算費用（R18までの合計）	1,933（千円）					
	⑧今後の見通し・検討の方向性	市民の健康増進の施策上必要なものであり、必要箇所の修繕を実施することにより機能の維持を図る。					
	⑨今後の方向性	存続（現状維持）					

第4章 取組・実施体制

1. 今後の取組

本計画書の中に記載されている公共施設の令和18年までの概算費用は、年平均約2億円弱(16年間の総額は約33億円)と試算されました。

一方、この計画以外にも、個別施設計画として「富里市橋梁長寿命化修繕計画」、「校舎等改修改築環境改善計画」、「富里市下水道管路施設ストックマネジメント計画」などがあることなどから、総合管理計画では市の施設全体では将来更新費用について年平均23億円と推計されております。

公共施設の適正な維持管理のため、財政負担については各個別施設計画等の見直しにより軽減・平準化を図る必要があります。

更に更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うための検討を進めます。

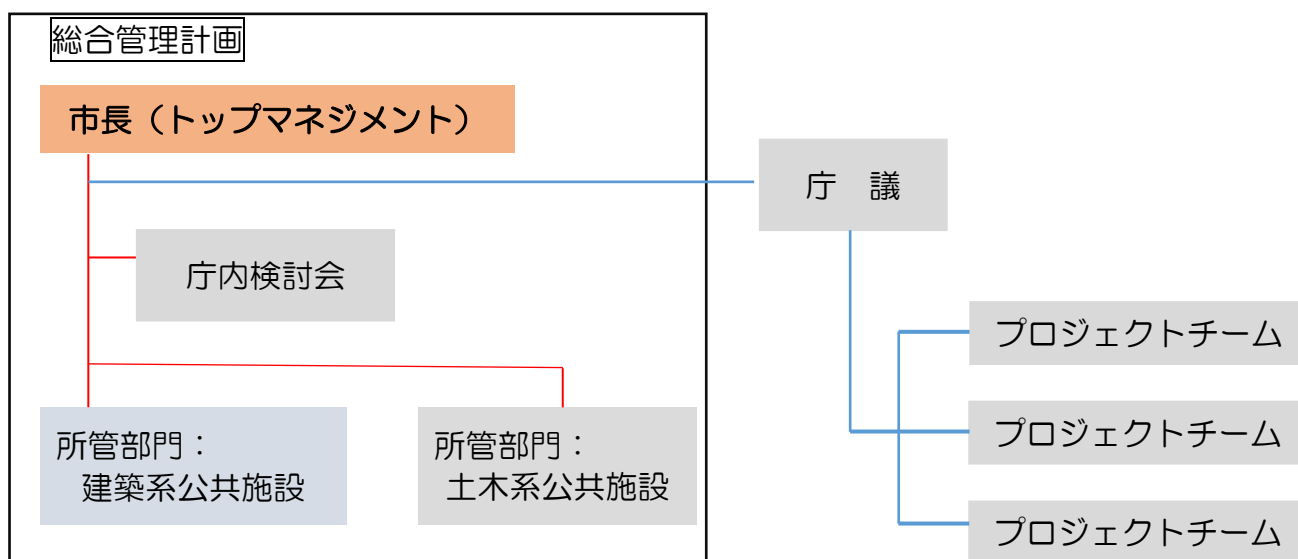
また、総合管理計画及び本計画については、適切な進捗を図るため、計画期間である令和18年度までの間、計画の前提条件に変更が生じた際など、随時見直しを行います。

2. 施設利用者や市民との情報共有・合意形成

公共施設の更新・統廃合が生じた場合には、議会や市民、施設利用者に対し随時情報提供を行い、市全体で共有化を図り進めてまいります。

3. 庁内取組体制

総合管理計画では、関係各部門と密接な連携を図りながら、かつ一元的な情報管理を行うため下図(左)の体制を計画に位置付けましたが、個別施設計画の策定にあたり、機動的な検討体制を構築するため、プロジェクトチームの編成を加え、組織体制の充実を図ります。



市 民 憲 章

北総台地の自然の中で健康で豊かな生活と香り高い文化を育て人と人とのふれ合いを大切に心のかようまちをつくるためここに市民憲章を定めます

- 一 豊かな大地を愛し 歴史と伝統を誇る まちをつくりましょう
- 一 人と平和を愛し 世界にひらく まちをつくりましょう
- 一 花と緑を愛し 心身ともに健康な まちをつくりましょう
- 一 若い力を育て 勤労を愛し活力ある まちをつくりましょう
- 一 郷土と文化を愛し 調和のある まちをつくりましょう

富里市公共施設個別施設計画

令和3年3月

〒286-0292 千葉県富里市七栄 652-1

富里市役所総務部財政課

TEL:0476-93-1116

e-mail : keiyakukanzai@city.tomisato.lg.jp